

平成28年度 事業実績報告

平成28年度は、2度の震度7で甚大な被害を出した熊本地震、梅雨の豪雨、阿蘇中岳の爆発的噴火など大規模な自然災害に見舞われ、災害時における社会福祉協議会の対応が大変注目されました。本会におきましても、災害ボランティアセンターの運営に携わる職員の派遣や現地への災害ボランティアの派遣などを行いました。

また、計画をいたしておりました各種事業につきましては、下記のとおり順調に終了することができました。

さらに、第3次地域福祉活動計画（平成29年度から平成33年度）の策定を行い、芦北町の福祉計画と連動し、「共助の心で みんなで取り組む やさしいまちあしきた」を基本理念に、地域福祉を推進するための諸事業を行なっております。

I 住民主体の地域福祉の推進

I-1 小地域福祉活動の推進

①小地域福祉推進事業（総務課：地域福祉係）

(1) 会員・会費制度の促進

地域住民による「支え合い・助け合い」活動を推進するため、地域福祉活動への住民参加を促進しました。（5月一般会員、6月は賛助・特別会員強化月間と位置付け）

区分	会 員	平成27年度	平成28年度
一般会員	各世帯	5,656世帯	5,622世帯
賛助会員	役職員、社会福祉事業従事者及び個人	10名(14口)	29名(31口)
特別会員	会社、事業所及び関係機関・団体等	8団体(12口)	15団体(21口)

(2) 地域福祉活動助成

地域の実情や課題に応じた小地域（行政区、公民館、集会所）単位の地域福祉活動を推進しました。

また、住民参加型福祉の実現に向け、安心して暮らしやすい地域づくりを目指す先進的な地域を支援しました。

助成内容	平成27年度	平成28年度
①小地域福祉活動助成金	2,854,500円	2,828,000円
②地域福祉モデル事業助成金 住民参加型福祉の実現に向け他の地区に先駆けて安心して暮らしやすい地域づくりを行う。 小田浦5地区：見守り旗運動(オレンジ旗)	149,520円	161,000円
③ふれあいいいきサロン活動助成金 地域において高齢者や子ども、障がい者などすべての住民を対象に誰でも気軽に集える居場所作り (新規)花東地区、小田浦5・6・7地区	93,000円	97,000円

(3) 第3次芦北町地域福祉活動計画の策定

期 日	内 容
平成 29 年 1 月 19 日	町福祉課と第 1 回、芦北町福祉計画との打ち合わせ
平成 29 年 1 月 23 日	町福祉課と第 2 回、芦北町福祉計画との打ち合わせ
平成 29 年 2 月 3 日	第 1 回、策定委員会開催
平成 29 年 2 月 27 日	第 2 回、策定委員会開催
平成 29 年 3 月 21 日	第 3 回、策定委員会開催

I-2 地域福祉コーディネートの充実

①水俣・芦北地域見守り活動推進事業（総務課：地域福祉係）

(1) 小地域ネットワークの構築

地域の福祉課題や地域住民のニーズの把握を行い、制度の間や公的サービスでは解決できない課題が生じた際は、関係機関と協働し社会資源の活用やインフォーマルサービス等の支援体制作りを行いました。

また、平時の見守り活動と一体的に取り組む地域福祉活動として捉えた、災害時に強い地域づくりを目指し実施しました。

活 動 内 容	実 績	平成 27 年度	平成 28 年度
地域福祉座談会 住民相互の見守り活動等、地域福祉活動の 推進を図る。	実施地区	7 地区	3 地区
①乙千屋 (2 月 18 日) ②丸山上・下地区 (3 月 12 日)	実施回数	5 回	2 回

〈地域福祉座談会開催の状況(抜粋)〉



【①乙千屋地区座談会】



【②丸山上・下地区座談会】

(2) ふれあいいいききサロンの普及・啓発

地域住民だれもが気軽に参加し、交流や地域の結びつきを深める拠点づくりとして、見守り活動や閉じこもり防止、新たな課題発見による支援の広がりにつなげるためにふれあいいいききサロンの普及・啓発に努めました。



活動内容	平成 27 年度	平成 28 年度
ふれあいいきいきサロン設置推進	11 地区(9ヶ所)	15 地区(11ヶ所)
サロン活動支援（講師派遣他）	24 回	4 回
サロン運営会議、代表者会議	1 回	1 回
サロン新聞発行	1 回	1 回
広報活動（機関紙掲載）	2 回	2 回

・ふれあいいきいきサロン開催

番号	実施地区		実施場所	活動状況	
	地区	サロン名		回数	実施日及び時間
1	海浦 1・2	さわやかサロン	海浦公民館	12	毎月第 3 月曜日
2	諏訪	ふれあいサロン	諏訪公民館	12	毎月第 3 火曜日
3	計石西・東	地域の縁側サロン	計石公民館	12	毎月第 3 金曜日
4	古道	古道ナイトサロン	古道公民館	12	毎月 20 日
5	湯北	ゆの華サロン	湯浦児童館	12	不定期
6	市野瀬	市野瀬サロン スマイル	市野瀬公民館	12	毎月第 4 火曜日
7	伏木氏	小鳩サロン	伏木氏公民館	12	毎月第 2 木曜日
8	市居原	鶴の湯サロン	市居原公民館	12	毎月第 1 土曜日
9	花東	花東サロン よろう会	花東公民館	8	毎月第 4 水曜日
10	小田浦 5～7	小田浦いきいきサロン	小田浦生涯学習 C	5	毎月第 3 日曜日

・サロン代表者会議

日 時 : 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 13:00～15:45

場 所 : きずなの里 和会議室

内 容 : サロンでできる創作活動（クラフトで籠作り）

参加者 : 10 名（各サロンから 1～2 名）（内 2 名は講師）

〈サロンの状況（抜粋）〉



【花東サロン”よろう会”】



【小田浦いきいきサロン】



【サロン運営代表者会議】

(3) 関係機関・団体等との連携強化

関係機関や団体等との情報の共有と課題把握に努め、地域福祉コーディネートの充実を図りました。

① 民生児童委員との連携（定例会等への参加）

◆ 毎月 5 日常任委員会、10 日定例会

◆ 民生児童委員協議会視察研修並びに各種活動への参加

- ◆見守り新鮮情報の提供（地域包括支援センター）
- ◆見守り応援隊ネットワーク会議の実施（熊本見守り応援隊との連携）

②芦北町地域ケア会議への参加

回数：6回

参加者：・芦北町住民生活課介護保険係 ・芦北町地域包括支援センター
 ・芦北町保健センター ・芦北町福祉課高齢者福祉係
 ・芦北町民生委員児童委員協議会 ・芦北町社会福祉協議会
 ・水俣・芦北圏域在宅医療介護連携支援センター ・竹本医院医師
 ・芦北地域リハビリテーション広域支援センター

内容：個別ケース事例検討
 情報交換及び意見交換

③芦北町健康づくり推進事業会議

日時：平成28年5月25日（水）13：30～

場所：きずなの里

参加者：あしきた健康づくり実行委員会

内容：あしきた健康フェアについて・あしきた健康体操について

日時：平成28年7月7日（木）13：30～

場所：きずなの里

参加者：あしきた健康づくり実行委員会

内容：あしきた健康フェアについて

日時：平成28年12月13日（火）15：00～

場所：きずなの里

参加者：あしきた健康づくり実行委員会

内容：第3期健康づくり推進計画策定について

日時：平成29年2月28日（火）13：30～

場所：きずなの里

参加者：あしきた健康づくり実行委員会（作業部会）

内容：健康づくり実態調査（案）について

④『熊本見守り応援隊』活動の推進

■ネットワーク会議の開催（1回）

日時：平成29年3月27日（月） 13：30～14：30

場所：きずなの里 トレーニング室

参加者：23名（民間事業者及び関係者）

- ・熊本日日新聞社（2販売店）・熊本県LPガス協会（2社）
- ・（社）熊本県タクシー協会 ・日本郵便株式会社（2郵便局）
- ・熊本県農業協同組合中央会 ・芦北町民生委員児童委員協議会
- ・芦北警察署生活安全課 ・芦北消防署
- ・芦北町福祉課 ・芦北町地域包括支援センター
- ・芦北町社会福祉協議会

内容：芦北警察署からの事例報告

- ・あさぎり町ささえ愛福祉ネットワーク連絡会について
- ・介護予防事業について



【ネットワーク会議】



【芦北消防署】



【芦北警察署】

II 地域福祉の担い手づくり

II-1 地域福祉活動推進員の育成

① 地域福祉活動推進員の設置及び育成（総務課：地域福祉係）

地域福祉活動計画に基づき、自助・共助・公助の協働による地域福祉の推進体制の確立に向け、地域福祉活動推進員を設置し、区長、民生児童委員や専門機関等と連携を図り、地域住民とともに福祉の町づくりを推進しました。

また、住民参加による地域課題の解決を目指し、地域福祉コーディネート及び活動支援、人材育成・啓発事業等を行いました。

事業名	活動内容	平成27年度	平成28年度
小地域福祉推進事業 (住民主体の地域福祉活動の推進及び連携のため実施する)	①推進員設置数	361名	352名
	②推進員会議・活動支援	30回	14地区7回
	③推進員全体会・研修会	1回	2回
	④先進地視察研修	1回	2回
	⑤地域福祉推進セミナー	1回	1回
	⑥手引き作成・配布	9部	355部
水俣・芦北地域見守り活動推進事業 (芦北町地域見守りネットワーク構築のため実施する)	⑦熊本県地域福祉推進フォーラム参加	1回	1回

① 平成28年度地域福祉活動推進員委嘱状交付式

日時：平成28年6月5日（日）10：00～11：50

参加者：地域福祉活動推進員 93名

場所：きずなの里（トレーニング室・ボランティア室）

内容：◇委嘱状交付

◇推進員の役割と地域福祉活動の取り組み

◇認知症についての勉強会 講師 竹本医院 院長 森健一郎氏

② 地域福祉活動推進員全体会の開催

日時：平成29年3月18日（土）10：00～11：30

参加者：区長・民生児童委員・地域福祉活動推進員73名、その他2名（計75名）

場所：きずなの里 トレーニング室

- 内 容：・地域福祉活動推進員表彰
 ・活動事例の報告（花東、小田浦5・6・7地区）
 ・地域福祉に関する寸劇「熊本地震をきっかけに始まるつながりづくり」
 ・事務連絡（サロン新聞について、たしゃか会開催のご案内について）



【③推進員全体会参加者】

- ③ 平成28年度地域福祉活動推進員研修会
 日 時：平成29年3月13日（月）10:20～15:30
 参加者：地域福祉活動推進員25名 職員2名（計27名）
 場 所：熊本市（ホテル熊本テルサ テルサホール）
 内 容：平成28年度熊本県地域福祉推進フォーラムへ参加



【③推進員研修会参加者】

- ④ 平成28年度地域福祉活動推進員先進地視察研修（地区別）
 日 時：平成28年10月28日（金）10:30～12:00
 参加者：道川内西地区地域福祉活動推進員12名
 職員1名 包括1名（計14名）
 場 所：宮崎県小林市（八幡原市民総合センター）
 内 容：小林市社会福祉協議会の地域福祉活動について
 小林市地域包括支援センターの取り組みについて



【④先進地視察研修会】

- ⑤ 平成28年度地域福祉活動推進員先進地視察研修（全体）
 日 時：平成28年11月15日（火）10:00～11:30
 参加者：地域福祉活動推進員等31名 職員3名（計34名）
 場 所：人吉市（人吉市総合福祉センター）
 内 容：人吉市社会福祉協議会の事業について
 小地域ネットワーク活動について
 災害時要援護者支え合いマップについて



【⑤先進地視察研修会】

- ⑥ 平成28年度地域福祉推進セミナー
 日 時：平成29年2月5日（日）10:00～11:45
 参加者：96名（地域福祉活動推進員及び地域住民）
 場 所：きずなの里 トレーニング室・ボランティア室
 内 容：講演「災害ボランティアセンターの運営からみる平常時のつながりづくり」
 講師 水俣市社会福祉協議会 参事 秋山真輝 氏



【⑥講演 秋山真輝氏】

Ⅱ-2 ボランティア活動への理解とセンター機能の充実

① ボランティアセンター事業（総務課：地域福祉係）

多くの住民にボランティア活動へのきっかけづくりを行い、養成したボランティアに対し、より多くの活動機会を提供できる体制の充実を図りました。

また、芦北町ボランティア連絡協議会や施設ボランティア連絡協議会と連携し、潜在的な人材を掘り起こし、幅広い活動につなげていけるようなネットワークづくりに努めました。

事業名	活動内容		平成27年度	平成28年度
共同募金 地域配分金事業 (ボランティア活動育成)	登録者状況	一般登録	32名	5名
		団体登録	16団体	17団体
	幹旋及び派遣		170名	133名
	連絡会議・研修・交流会		16回	16回
	広報活動（広報紙）		3回	3回

② ボランティア協力校の指定及び福祉教育の充実（総務課：地域福祉係）

町内小中学校での福祉講座の開催や夏休み期間を活用した福祉体験学習を実施し、子どもの頃から相手を思いやる心を育む福祉教育の充実を図りました。

また、地域で暮らす高齢者や障がい児（者）に対する理解が深められるよう、身近な地域において学ぶ機会を提供する福祉出前講座や福祉・介護チャレンジ教室を開催しました。



地域配分金事業（ボランティア活動育成）

【②福祉出前講座】

事業名	活動内容		平成27年度	平成28年度
① ボランティア協力校 (ボランティア精神や社会連帯の精神を養う)	指定状況 (協力校)	保育園・幼稚園	4園	5園
		小中、高等学校	10校	10校
② 福祉出前講座 (学校に出向き福祉に関する講話を行う)	① 湯浦小4年生	19名	2校	2校
	② 田浦小3年生	38名	58名	57名
③ 福祉体験学習 (ワークキャンプ) (福祉施設への理解とボランティア活動への意識の向上に繋げる)	① 小学生	42名	90名 (延) 179名	76名 (延) 107名
	② 中学生	25名		
	③ 高校生	9名		
④ 福祉・介護チャレンジ教室 (疑似体験等を通じて福祉・介護サービスの意義や重要性を理解してもらう)	① 芦高福祉1年生		1回 23名	1回 18名

III 安心して暮らせる地域づくり

III-1 自立した生活の支援

① 地域福祉権利擁護事業（総務課：地域福祉係）

住みなれた地域で安心して日常生活が送れるよう生活支援員を派遣し、認知症高齢者や知的障がい者への福祉サービス利用援助や日常的金銭管理等のサービスを提供しました。

年 度	相 談 援 助 件 数	契 約 件 数	解 約 件 数	実利用 者 数	利用者内訳			
					認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他
平成 28 年度	195 人	6 人	3 人	12 人	6 人	5 人	1 人	0 人
平成 27 年度	158 人	3 人	1 人	9 人	5 人	4 人	0 人	0 人

② 共同募金運動の推進及び地域配分金事業の実施（総務課：地域福祉係）

(1) 赤い羽根共同募金運動（共同募金芦北町分会）

本年度も「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに 10 月 1 日より 12 月 31 日までの期間で、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されました。

芦北町においても地域福祉サービスの充実のために、町民の皆様一人ひとりに福祉への参加を呼びかけ、助け合いの輪が広がることを願い共同募金運動を実施しました。

年 度	戸別募金	職域募金	個人募金	その他の募金	合 計
平成 28 年度	5,720,850 円	12,288 円	7,000 円	7,244 円	5,747,382 円
平成 27 年度	5,737,465 円	11,899 円	9,000 円	3,108 円	5,761,472 円

※熊本地震に伴う義援金

- ・湯浦リフォーム教室一同・芦北町民生委員児童委員協議会・きずなの里募金箱
- ・芦北町社会福祉協議会職員労働組合

(2) 共同募金地域配分事業

共同募金配分金を活用し、公的制度では対応できない事業を実施し、地域福祉及び在宅福祉を推進しました。

(前年度実績による配分額)

年 度	募金総額(A)	広域配分(B)	地域配分金(A)-(B)
平成 28 年度	5,761,472 円	1,025,000 円	4,736,472 円
平成 27 年度	5,801,182 円	1,050,000 円	4,751,182 円

① 老人福祉活動

活動内容	実施日	活動実績	備 考
①金婚夫婦お祝い (金婚達成夫婦へお祝品を贈る。)	H28.9.13(火)	67 組	記念品贈呈 (三段小物入れ)

②お便り運動 (町内の小学校と連携し 学生から独居高齢者等へ 年賀等を送る。)	敬老の日	950名	敬老の日お祝い
	元旦	949名	年賀状
③地域“敬老会”支援 (各敬老会場へお茶(ペット ボトル)の配布)	H28.9.4 ~ H28.10.2	82会場 533本	町内の商店から直送
④見守りカレンダー・スケ ジュールシール及びメッ セージカード配布 (新たな年を迎える時期 に、地域で安心して暮らす ように)	H28.12月中旬	681名	「くらしのメモカレンダー」 書き込みができるカレンダー 「スケジュールシール」 通院日等のシール 「メッセージカード」 新年の目標等記入し配布
⑤一人だけの金婚式 (婚姻の事実から50年経 過し配偶者がいらっしゃ らない)	H29.2.18(土)	5名	ふれあい交流まつりで表彰 表彰状、記念品贈呈(三段小 物入れ)



【①金婚夫婦お祝い】



【⑤一人だけの金婚式】

②障がい児・者福祉活動

活動内容	実施日	活動実績	備考
①地域間交流事業 (障がいに対する理解を 深めて頂き、障がい者が健 常者とともに共生しつつ、 住みなれた地域の中で生 活できるよう開催する。)	H28.10.15(土)	150名	あしきた障がいフォーラム 場所：御立岬キャンプ場 スポーツレクリエーション 体験教室 ・バリアフリーディスクゴル フ

③児童・青少年福祉活動

■子供ふれあい教室（子ども達に様々な体験や交流を通して豊かな感性、人間性を育み、子ども達の健全育成を図る。）

活動内容	実施日	活動実績	備考
①世代間交流 （環境について考える） 講師 熊本県環境センター 坂本・平尾指導員	H28. 7. 28(木)	28名	・吉尾保育園（環境に関する学習と紙すき体験） 園児5名、デイ利用者 12名、民生委員4名、園職員3名、社協職員4名
②地域間交流 （芦北よかところ発見） 講師：釜利広氏 大矢ふよ子氏	H28. 11. 13(日)	7名	女島地区（女島活力推進センター） （料理体験：手作り竹輪作り） 吉尾小7名



【①紙すき体験】



【②芦北よかところ発見隊】



■“こんにちは”赤ちゃん運動（子どもさんの誕生を祝い記念品を贈る。）

（記念品：ウォッシュタオルセット）

田浦地区	佐敷地区	吉尾地区	大野地区	湯浦地区	合計
0件	7件	0件	0件	8件	15件

※担当民生・児童委員と主任児童委員の友愛訪問で手渡しされています。

④母子・父子福祉活動

活動内容	実施日	活動実績	備考
①親と子の一日旅行 （母子・父子家庭の児童の健全な育成と相互の交流を図る。）	H28. 10. 16(日)	39名	鹿児島水族館・鹿児島アミュプラザ（鹿児島市） 社協職員4名、民生・児童委員2名同行
②クリスマスプレゼント贈呈 （母子・父子世帯の児童及び交通遺児へのプレゼント）	H28. 12. 25(日)	184名	図書券（1,000円） 幼児 24名 小学生 88名 中学生 72名

⑤福祉育成・援助活動

■福祉育成事業

活動内容	実施日	活動実績	備考
①福祉スポーツ大会 (それぞれの体力に応じたスポーツやレクリエーションを楽しみながら、コミュニケーションの輪を広げ健康の増進及び町民の融和を図る。)	H28. 10. 19(水)	321名	福祉施設 8施設 福祉団体 10団体 保育園 1保育園 健康づくり推進委員会 10名 芦高ボランティア 18名 (福祉課1年生) 来賓 10名 役員・職員 35名
②福祉団体等活動支援 (福祉団体への助成金)	H28. 4. 1) H29. 3. 31	7団体	葦北郡老人クラブ連合会 芦北町身体障害者福祉連合会 芦北町母子寡婦福祉連合会 難病友の会「みどりの会」 芦北町精神障がい者家族会 芦北町ボランティア連絡協議会 芦北町施設ボランティア 連絡協議会



【①福祉スポーツ大会】

■地域福祉整備事業 (地域住民が集える場の確保や子どもの居場所づくり)

活動内容	実施日	活動実績	備考
① 地域ふれあいベンチ設置事業	H28. 4. 1) H29. 3. 31	1地区	・道川内西地区 1台(公民館)
②地域ふれあい拠点づくり事業	H28. 4. 1) H29. 3. 31	3地区	・宮崎地区 (公民館) ミニ座椅子 25脚 ・白岩地区 (公民館) 和座椅子 12脚 ・道川内東地区 (公民館) 座卓用長テーブル 6台

■在宅介護者援助事業

活動内容	実施日	活動実績	備考
①介護者のつどい (介護者のリフレッシュ及び情報交換の場所作り)	H28. 6. 7(火)	6名 職員3名	場所：きずなの里 ・身体に優しいご飯作り ・レクリエーション等 ・介護に関する情報交換他

	H28. 8. 30(火)	11名 職員2名 研修生1名	場所：出水市、山門ぶどう園他 ・介護者リフレッシュ ・介護相談 ・介護に関する情報交換他
	H28. 12. 9(金)	9名 職員2名	場所：きずなの里 ・ミニ門松作り ・介護予防について ・介護に関する情報交換他
	H29. 3. 16(木)	6名 職員2名	場所：相良村 ・グラウンドゴルフ交流 ・介護予防について ・介護に関する情報交換他
②紙おむつ券配付 (寝たきり高齢者及び認知症高齢者・障がい者等で常時紙おむつを必要とする方へ配布)	H28. 12月中旬	73名	おむつ券(3,000円分) 町内の契約商店(5店)から購入



【①介護者の“つどい”】

■生活困窮者、災害被災者援助事業

活動内容	実施日	活動実績	備考
① 行旅病人旅費支給	H29. 3. 3(金)	1名	行旅病人旅費(500円/1人)
② 災害見舞金支給 (災害世帯への見舞金)	—	0件	

③福祉資金貸付事業(総務課：総務係)

(1)福祉金庫貸付事業(生活つなぎ資金)

生活困窮者の一時的な生活上のつなぎ資金として貸し付けし、生活の安定と福祉の向上を図ることを目的に実施しました。(貸付金額：30,000円/回上限)

年度	新規貸付	貸付額	償還総数	償還額	貸付総数	未償還額(利息含む)
平成28年度	4件	110,000円	6件	99,552円	11件	211,031円
平成27年度	0件	0円	1件	18,586円	7件	190,741円

※平成28年度内、2件償還完了

(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に、熊本県社会福祉協議会を実施主体として、相談支援（窓口）業務を担いました。（貸付金額は各種によって異なる。）

年度	新規貸付	年度末貸付総件数 及び貸付総額	未償還金残高 (滞納額含)	うち滞納
平成 28 年度	0 件	(18 件) 11,950,850 円	7,080,324 円	(6 件) 4,366,614 円
平成 27 年度	0 件	(21 件) 15,407,600 円	7,805,018 円	(6 件) 3,355,850 円

④生活困窮者等自立相談支援事業（県社協受託事業）

生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立促進を図る事業です。

本会には、主任相談支援員を配置しブロック社協、葦北郡（芦北町・津奈木町）、八代郡（氷川町）を統括し他の社協と連携・調整を行いその運営にあたります。

・事業費

「自立相談支援窓口（主任相談支援員）」・・・3,000,000 円（県社協受託金）

「総合相談窓口」・・・1,324,500 円（県社協事務負担金）

研修会

○九州ブロック地域福祉研究会議

・期日 平成 28 年 9 月 8 日（木）～9 日（金）

・場所 宮崎市

・内容 新たな地域の接点との照合～生活困窮者支援からのまちづくり

○生活困窮者等自立相談支援事業相談支援員研修会

・期日 平成 28 年 12 月 19 日（月）

・場所 熊本市

・内容 事例研修

○熊本県生活困窮者自立支援制度人材(就労支援員)養成研修会

・期日 平成 29 年 2 月 21 日（火）

・場所 熊本市

・内容 就労支援のやり方等

(1) 相談者数及び対応延人数

相談実人数			相談延回数	方法			
男性	女性	計		電話	来所	訪問	同行支援
31 人	18 人	49 人	87 回	32 回	21 回	29 回	5 回

(2) 相談者の年齢

20 才代	30 才代	40 才代	50 才代	60 才～64 才	65 才以上	不明	計
2 人	10 人	10 人	9 人	5 人	9 人	4 人	49 人

(3) 相談経路

実人数	相談経路					
	本人	家族	知人	自立相談 支援機関	関係機関	その他・不明
49 人	24 人	3 人	0 人	0 人	17 人	5 人

(4) 初期対応状況

実施ケース数	情報提供や相談のみ	自立相談支援機関による支援		他の制度や専門機関へのつなぎ
		プラン策定	見守り・観察	
48人	11人	8人	1人	28人

(5) プラン策定及び事業利用の状況

法に基づく事業等						その他関連事業等	
住宅確保給付金	一時生活支援事業	家計相談支援事業	就労準備支援事業	認定就労訓練事業	自立相談就労支援	福祉資金貸付事業	就労自立促進事業
—	2	—	—	—	5	—	—

⑤ もやい直しセンター運営事業（総務課：総務係）

水俣病及び水俣病患者に対する差別や偏見をなくし、地域住民がそれぞれの立場や境遇を正しく理解し合い、みんなが仲良く楽しく暮らせる地域社会の実現のため、その学習の場と交流の機会を提供するため、次の事業を行いました。

(1) ふれあい再生事業（地域再生のための交流会等）

活動内容	実施日	参加者	備考
①「きずなの里」ふれあい交流まつりの開催 	H29. 2. 18(土)	(来場者) 250名 6名 149名 30セット	【目的】 地域住民一人一人の心の絆を結び、地域全体にもやい直しの輪を広げる。 ●一人だけの金婚式 (対象者:昭和41年婚姻の事実) ●ステージイベント (保育園児及び生きがい作り事業利用団体等による発表会:15団体) ●お楽しみ抽選会 ●温泉無料開放
②水俣病情報発信事業 (芦北町への後援協力)	H28. 9. 24(土)	76名	【講演会】 演 題:「誠実に生きる」 講 師:宮本勝彬 氏(元水俣市長)

(2) 生きがいづくり事業（高齢者等の趣味や健康維持）

講座名	実施状況	年間延べ参加者数	
		平成27年度	平成28年度
リフォーム講座	月・火曜日/週	844名	756名(84回開催)
健康太極拳講座	月曜日/週	511名	501名(45回開催)

(3) 施設開放事業（もやい直しセンターの施設の開放）

年度	項目	年間延べ利用者数		計
		温泉施設利用	会議施設等利用	
平成28年度		11,311名	24,237名	35,548名
平成27年度		11,755名	25,357名	37,112名

(4) 避難所として開設

熊本地震 (18 日間)		台風 12 号 (2 日間)		台風 16 号 (1 日間)	
期 日	4 月 14 日～5 月 1 日	期 日	9 月 3 日～4 日	期 日	9 月 19 日
避難者	延べ 744 名	避難者	延べ 59 名	避難者	延べ 47 名

⑥ シルバー人材センター事業 (総務課：総務係)

(1) シルバー人材センター運営事業

芦北町シルバー人材センターでは、高齢者へ臨時的または短期的な就業の場を提供し、社会参加による生きがいつくりの推進に努めました。

また、会員の健康と就業上の安全・適正な就業を目指すため、講習会や研修会等を開催し安全な就業の推進を図りました。

さらに、会員の増員のためにポスターを作成し公共施設に掲示しました。

① 会員の状況

年度	男 性		女 性		合 計	
	会員数	就業会員数 (率)	会員数	就業会員数 (率)	会 員 数	就業会員数 (率)
平成 28 年度	26 名	26 名 (100%)	28 名	28 名 (100 %)	54 名	54 名 (100%)
平成 27 年度	29 名	28 名 (96.6%)	34 名	33 名 (97.1%)	63 名	61 名 (96.8%)

② 事業実績

年度	実 績	受注件数及び金額				就業延 会員数
		行 政	一般企業等	個人・家庭	計	
平成 28 年度		13 件	124 件	239 件	376 件	6,831 人/年
平成 27 年度		13 件	135 件	232 件	380 件	6,651 人/年

③ 研修会等

活動内容	実 施 日	内 容	参 加 者
① 剪定講習会	H28. 11. 4(金) H28. 11. 5(土)	・基礎講習 ・実践講習 講師：西 繁好 氏	6 名
② 消防訓練 (きずなの里)	H29. 3. 9(木)	・シルバー会員を中心に実施 ・通報訓練、消火訓練等の確認	5 名
③ 消防訓練 (八幡荘)	H29. 3. 10(金)	・シルバー会員を中心に実施 ・通報訓練、消火訓練等の確認	5 名
④ 視察研修 (御休み 処)	H28. 10. 20(木)	・フードフェスタ (熊本流通情報 会館)	4 名
⑤ ボランティア活動	H28. 10. 26(水)	・御立岬公園キャンプ場の剪定及 び清掃	9 名
	H29. 2. 28(火)	御立岬公園の清掃	8 名



【①剪定講習会】

【②避難訓練（消火訓練）】

④安全適正就業の推進

実施日	内 容	参加者
H28. 6. 18(木)	安全適正就業研修会（八代市）	事務局 1名
H28. 7. 14(木)	熊本県シルバー人材センター連合会「安全大会」 （熊本市）	会 員 1名 事務局 1名

(2) 星野富弘美術館「御休み処」事業

星野富弘美術館の御休み処は、開設の平成 19 年から本会のシルバー人材センターが運営に当たっています。平成 28 年度も木・日曜日を除く週 5 日営業を行いました。

平成 28 年度は、特に昼の弁当に力を入れメニューの開発や配達の充実に努めた結果、平成 27 年度に比べ大きな成果を上げることができました。

また、新メニューの開発のために、研修会（フードフェスタ）にも参加し質の向上に努めました。

さらに、近所の高齢者の拠り所や食事の場として、地域の中で貢献しました。

	美術館利用者	一般利用者	年間売上
平成 28 年度	191 人	5,777 人	2,736,850 円
平成 27 年度	178 人	2,905 人	1,514,900 円



【店 内】



【昼定食】



【新メニュー弁当】

⑦介護保険事業、芦北町地域支援事業、芦北町福祉サービス委託事業
 (事業課：介護保険事業係、田浦支所事業係)

1. 訪問介護事業 (所)

(1) 事業内容

	事業区分	事業名	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険事業) 指 定 居 宅 サービス事業	訪問介護	対象者：要介護認定者（要介護 1～5） 内 容：訪問介護員が居宅に訪問し、入浴、排せつ、 食事等の介護や、調理、洗濯、掃除等の家事 及び日常生活に関する相談・助言等の生活援 助を行いました。
2	(地域支援事業) 介護予防・日常 生活支援総合事 業	訪問型 サービス	対象者：要支援認定者（要支援 1～2） 内 容：訪問介護員が居宅に訪問し、介護予防を目的 に家事等の生活援助を行い日常生活の自立 に向けた支援を行いました。
3	障 害 福 祉 サービス事業	障害者 居宅介護	対象者：障がい者及び障がい児 内 容：障がいのある方の地域での生活を支えるた め、ホームヘルパーが自宅を訪問して、入浴、 排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等 の家事、生活等に関する相談や助言など、生 活全般にわたる援助を行いました。
4	芦北町障害者 福祉事業	障害者 移動支援	対象者：障がい者及び障がい児 (屋外での移動に著しい制限のある 65 歳未満 の者) 内 容：移動が困難な障がい者（児）が充実した日常 生活を営むことができるよう、社会参加等に 必要な外出時の支援を行います。(平成 28 年 度実績なし)

(2) 利用実績

①実利用者数

(人)

事業区分	事業名	事業 対象者	H28 年度	H27 年度	比 較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	訪 問 介 護	要介護 1	140	92	48
		要介護 2	30	27	3
		要介護 3	23	15	8
		要介護 4	41	40	1
		要介護 5	5	21	▲16
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	訪問型サービス	要支援 1	269	242	27
		要支援 2	217	241	▲24

障害福祉サービス事業	障害者居宅介護	障がい者	24	30	▲6
芦北町障害者福祉事業	障害者移動支援	障がい者	0	0	0
合 計			749	708	41

②サービス別延利用回数 (回)

事業区分	事業名	サービス区分	H28年度	H27年度	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	訪問介護	身体介護	516	989	▲473
		身体・生活	937	1,053	▲116
		生活援助	1,211	841	370
		(小計)	2,664	2,883	▲219
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	訪問型サービス	訪問型サービス I	312	276	36
		訪問型サービス II	149	154	▲5
		訪問型サービス III	24	48	▲24
		(小計)	485	478	7
障害福祉サービス事業	障害者居宅介護	通院介助	12	12	0
		家事援助	182	157	25
		(小計)	194	169	25
芦北町障害者福祉事業	障害者移動支援	移動支援	0	0	0
合 計			3,343	3,530	▲187

③事業収入の状況

事業収入	事業名	H28年度実績	H27年度実績	比較
介護保険事業収入	訪問介護	7,359,164円	8,851,150円	▲1,491,986円
	訪問型サービス	8,422,540円	8,991,048円	▲568,508円
障害福祉サービス 事業等収入	障害者居宅介護	409,222円	353,213円	56,009円
	障害者移動支援	0円	0円	0円
合 計		16,190,926円	18,195,411円	▲2,004,485円

2. 訪問入浴介護事業 (所)

(1) 事業内容

	事業区分	事業名	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険事業) 指定居宅 サービス事業	訪問 入浴介護	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内 容：寝たきりの高齢者等の家庭を移動入浴車で訪問し、入浴の介助を行い、身体の清潔保持と心身機能の維持等を図りました。
2	(介護保険事業) 指定介護予防	介護予防 訪問入浴	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内 容：在宅にて入浴が困難な高齢者の家庭を移動入

サービス事業	介護	浴車で訪問し、入浴の介助を行い、身体の清潔保持と心身機能の維持等を図りました。
--------	----	---

(2) 利用実績

①実利用者数 (人)

事業区分	事業名	事業対象者	H28年度実績	H27年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	訪問入浴介護	要介護1	0	2	▲2
		要介護2	36	22	14
		要介護3	6	6	0
		要介護4	32	47	▲15
		要介護5	9	23	▲14
(介護保険事業) 指定介護予防 サービス事業	介護予防訪問入浴介護	要支援1	0	0	0
		要支援2	14	24	▲10
合 計			97	124	▲27

②サービス別延利用回数 (回)

事業区分	事業内容	サービス内容	H28年度実績	H27年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス 事業	訪問入浴介護	訪問入浴	368	381	▲13
		訪問入浴・部分浴	16	9	7
		(小計)	384	390	▲6
(介護保険事業) 指定介護予防 サービス事業	介護予防 訪問入浴介護	予防訪問入浴	46	83	▲37
		予防訪問入浴・部分浴	0	1	▲1
		(小計)	46	84	▲38
合 計			430	474	▲44

③事業収入の状況

事業収入	事業名	H28年度実績	H27年度実績	比較
介護保険事業収入	訪問入浴介護	4,917,930 円	4,909,060 円	8,870 円
	介護予防 訪問入浴介護	390,930 円	711,330 円	▲320,400 円
合 計		5,308,860 円	5,620,390 円	▲311,530 円

3. 「きずなの里」通所介護事業（所）

(1) 事業内容

	事業区分	事業名	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険事業) 指定居宅 サービス事業	通所介護	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内 容：通所の方法により、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などのサービスを提供し、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を図りました。
2	(地域支援事業) 介護予防・日常生活支援総合事業	通所型 サービス	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内 容：要介護状態になることをできる限り防ぐ（発生を予防する）ことを目的に、通所の方法により、高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援しました。
3	(地域支援事業) 介護予防・日常生活支援総合事業	閉じこもり 予防通 所支援	対象者：一人暮らし等で、家に閉じこもりがちな高齢者。 （事業対象者（介護保険認定外）） 内 容：高齢者の自立的生活の助長と社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を目的に、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などのサービスを提供しました
4	芦北町障害者 福祉事業	障害者 (児)日中 一時支援	対象者：障がい者及び障がい児 （一時的に見守り等の支援が必要な65歳未満の者） 内 容：日中の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び介護負担の軽減を目的に、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などのサービスを提供しました。

(2) 利用実績

①実利用者数

(人)

事業区分	事業名	事業 対象者	H28年 度実績	H27年 度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	通 所 介 護	要介護1	218	188	30
		要介護2	112	97	15
		要介護3	16	34	▲18
		要介護4	19	16	3
		要介護5	2	7	▲5
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	要支援1	206	278	▲72
		要支援2	165	147	18
	閉じこもり予防通所 支 援	非該当	41	82	▲41

芦北町障害者福祉事業	障害者日中一時支援	障がい者	2	10	▲8
合 計			781	859	▲78

②サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業名	サービス区分	H28年度実績	H27年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	通所介護	通所介護 I 21	2,177	2017	160
		通所介護 I 22	946	753	193
		通所介護 I 23	141	285	▲144
		通所介護 I 24	82	135	▲53
		通所介護 I 25	26	17	9
		(計)	3,372	3,207	165
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	通所型サービス 1	1,147	1,450	▲303
		通所型サービス 2	1,176	1,080	96
		(計)	2,323	2,530	▲207
	閉じこもり予防通所支援	147	299	▲152	
芦北町障害者福祉事業	障害者(児)日中一時支援		6	42	▲36
合 計			5,848	6,078	▲230

③事業収入の状況

事業収入	事業名	H28年度実績	H27年度実績	比較
介護保険収入	通所介護	25,945,360円	25,128,011円	817,349円
	通所型サービス	10,673,189円	11,394,369円	▲721,180円
受託金収入	閉じこもり 予防通所支援	417,480円	860,520円	▲443,040円
障害福祉サービス 事業等収入	障害者(児) 日中一時支援	32,740円	232,680円	▲199,940円
合 計		37,068,769円	37,615,580円	▲546,811円

4. 居宅介護支援事業（所）

（1）事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険指定事業) 居宅介護支援事業	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内容：(1)居宅サービス計画（ケアプラン）の作成。 (2)要介護認定のための申請手続き代行。 (3)居宅サービス計画に基づく居宅サービスの提供が確保されるようサービス事業者等との連絡調整。 (4)サービス実施状況の把握及びこれに基づく給付。
2	(地域包括支援センター受託事業) 介護予防居宅介護支援事業	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内容：(1)介護予防サービス計画（予防プラン作成） (2)要支援認定のための申請手続き代行。 (3)介護予防計画に基づく介護予防サービスの提供が確保されるようサービス事業者等との連絡調整。 (4)サービス実施状況の把握。

（2）利用実績

①実利用者数

（人）

事業区分	介護保険認定者							計
	要支援		要介護					
	1	2	1	2	3	4	5	
居宅介護（介護予防）支援	69	54	471	309	103	125	43	1,174
前年度実績	130	59	602	226	112	107	60	1,296
前年度との比較	▲61	▲5	▲131	83	▲9	18	▲17	▲122
	▲66		▲56					

②サービス別延利用回数

（回）

事業区分	事業内容	サービス区分	H28年度実績	H27年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅介護 支援事業	介護予防支援	介護予防支援	123	189	▲66
	居宅介護支援	居宅介護支援Ⅰ1	780	828	▲48
		居宅介護支援Ⅱ2	271	279	▲8
合計			1,174	1,296	▲122

③事業収入の状況

事業収入	事業名	H28年度実績	H27年度実績	比較
介護保険事業収入	介護予防支援	574,900円	816,840円	▲241,940円
	居宅介護支援	15,378,070円	15,746,780円	▲368,710円
合計		15,952,970円	16,563,620円	▲610,650円

5. 「食」の自立支援事業

(1) 事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	(芦北町地域支援事業) 「食」の自立支援事業	対象者：①要介護認定者 ②要支援認定者 ③介護予防・日常生活支援総合事業対象者 内 容：(1)配食サービスの実施 (2)安否確認

(2) 利用実績

①実利用者数

(人)

事業区分	利用者			計
	要介護認定者	要支援認定者	介護予防・日常生活支援総合事業対象者	
芦北町地域支援事業	55	145	57	257
前年度実績	41	214	54	309
前年度との比較	14	▲69	3	▲52

②サービス別延利用回数

(回)

事業区分	サービス区分	H28年度実績	H27年度実績	比較
(介護保険事業) 芦北町地域支援事業	配食(基本)	3,553	3,853	▲300
	距離割増	257	510	▲253
	キャンセル・不在	10	15	▲5
合 計		3,820	4,378	▲558

③事業収入の状況

事業収入	H28年度実績	H27年度実績	比較
芦北町受託金収入	3,410,550円	3,725,600円	▲315,050円

6. 芦北町高齢者生活支援ハウス運営事業

生活支援ハウス運営事業では、在宅生活に不安のある高齢者の方に対し、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、安心して健康で自立した生活が送れるよう支援しました。

また、生活援助員2名を配置し、日常生活に係る相談や助言等の援助を行うとともに、休日や夜間については、宿日直者を配置し、緊急時の対応に備え、入居者が安心して生活できるよう支援しました。

(1) 入居（者）の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退去	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(2) 安心・安全かつ快適な生活のための支援

- ①施設設備の保守など適正な管理を行いました。
- ②定期的な巡回と、必要に応じた個別の安否確認を行いました。
- ③年2回の消防訓練を実施し、防火・避難対策の強化を図るように努めました。
- ④台風や大雨など事前に災害が予想される場合においては、入居者への注意喚起を行うとともに、避難体制（宿日直体制）の強化に努めました。
- ⑤入居者の生きがいつくりや親交を深めるため、デイサービスの季節行事や地域・世代間交流などへの参加を促しました。

(3) 入居者の相談援助

- ①入居者の急変時は、家族・病院へ連絡し、病院受診の支援を行いました。また、入居者の生活上の課題については、家族、ケアマネージャー、役場、医療機関と連携し、課題解決に向けたカンファレンスを行い今後の生活がスムーズにいくように調整を行いました。
- ②入居者間のコミュニケーションや関係について相談援助を行いました。

7. 「八幡荘」通所介護事業（所）

当事業（所）では、介護保険制度の趣旨及び事業所の基本方針に基づき、要介護認定者への地域密着型通所介護サービスの提供と、平成27年度介護保険制度の改正に伴い創設された、芦北町地域支援事業により要支援認定者、基本チェックリストにて判断された介護予防・生活支援サービス事業対象者へ通所型サービスを提供し、利用者が可能な限り在宅においてその有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるようサービスの提供に努めました。

1. 事業内容

- (1) 必要な日常生活上の介助（支援）及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立間の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図れるようサービスの提供に努めました。
- (2) 在宅に引きこもりがちな一人暮らし高齢者や認知症高齢者の生活に「ハリ」と「リズム」をつくり、精神的安定を図れるよう努めました。
- (3) 季節行事の実施と保育園児や民生委員児童委員、各種ボランティア等地域住民との交流の機会を提供し、利用者の生きがいつくりと社会参加に努めました。
- (4) ゆったりとした安全な環境を作り、住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう、またご家族や地域の方からも信頼されるよう努めました。

2. 利用実績

(1) 実利用者数

(人)

事業区分	事業名	介護保険 認定区分	H28年度 実績	H27年度 実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	地域密着型通所介護	要介護1	122	97	25
		要介護2	21	17	4
		要介護3	1	0	1
		要介護4	1	9	▲8
		要介護5	0	0	0
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	要支援1	40	73	▲33
		要支援2	17	37	▲20
	閉じこもり予防通所支援	非該当	77	109	▲32
合 計			279	342	▲63

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業名	サービス区分	H28年度 実績	H27年度 実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	地域密着型 通所介護	地域通所介護 21	1,245	1,042	203
		地域通所介護 22	233	116	117
		地域通所介護 23	1	0	1
		地域通所介護 24	5	32	▲27
		地域通所介護 25	0	0	0
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	通所型サービス 1	166	316	▲150
		通所型サービス 2	126	363	▲237
	閉じこもり予防通所支援		279	422	▲143
合 計			2,055	2,291	▲236

(3) 事業収入の状況

事業収入	事業名	H28年度実績	H27年度実績	比較
介護保険収入	通所型サービス	1,424,764円	2,843,866円	▲1,419,102円
	地域密着型通所介護	11,617,899円	9,464,963円	2,152,936円
受託金収入	閉じこもり予防 通所支援事業	792,360円	1,196,480円	▲404,120円
合 計		13,835,023円	13,505,309円	329,714円

8. 田浦福祉センター管理運営事業

田浦福祉センター管理運営事業では、地域住民からの申請や受付の管理事務と、建物や器具備品等の維持管理に努めました。平成28年度実績としましては、児童から高齢者まで、延べ4,238人（837人増）にご利用いただきました。

項目 年度	年間延べ利用者数		合計	利用者内訳			
	大広間	教養娯楽室 (会議室)		児童クラブ	地域住民	介護予防	デイサービス
本年度実績	4,014名	224名	4,238名	3,706名	259名	273名	0名
前年度実績	3,362名	39名	3,401名	2,808名	288名	166名	139名
比較	652名	185名	837名	898名	▲29名	107名	▲139名

9. 放課後児童健全育成（田浦児童クラブ）事業

田浦小学校区を対象に放課後や夏休み・冬休み等の長期休暇において、子供の安全・安心を確保するため、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全育成を図るため、運営主体となります社会福祉法人「千隆福祉会」へ協力し、放課後児童支援員（有資格者）の派遣を行いました。

内容 月	利用状況				派遣（協力）状況		
	開所日数	登録者数	延利用者数	1日平均	派遣日数	派遣員数	派遣時間
4月	20日	25人	272人	13.60人	19日	1人	45時間
5月	19日	27人	346人	18.21人	19日	1人	43時間
6月	21日	27人	380人	18.10人	21日	1人	48時間
7月	20日	31人	306人	15.30人	20日	1人	47時間
8月	21日	31人	286人	13.62人	21日	1人	52時間
9月	18日	30人	361人	20.06人	18日	1人	41時間
10月	20日	30人	351人	17.55人	20日	1人	45時間
11月	20日	30人	317人	15.85人	20日	1人	43時間
12月	19日	30人	300人	15.79人	19日	1人	44時間
1月	19日	30人	280人	14.74人	11日	1人	26時間
2月	19日	28人	259人	13.63人	18日	1人	41時間
3月	22日	28人	248人	11.27人	18日	1人	43時間
計	238日	347人	3,706人	15.57人	224日	12人	518時間

⑧ 芦北町地域包括支援センター事業（地域包括支援センター）

地域包括支援センター事業係

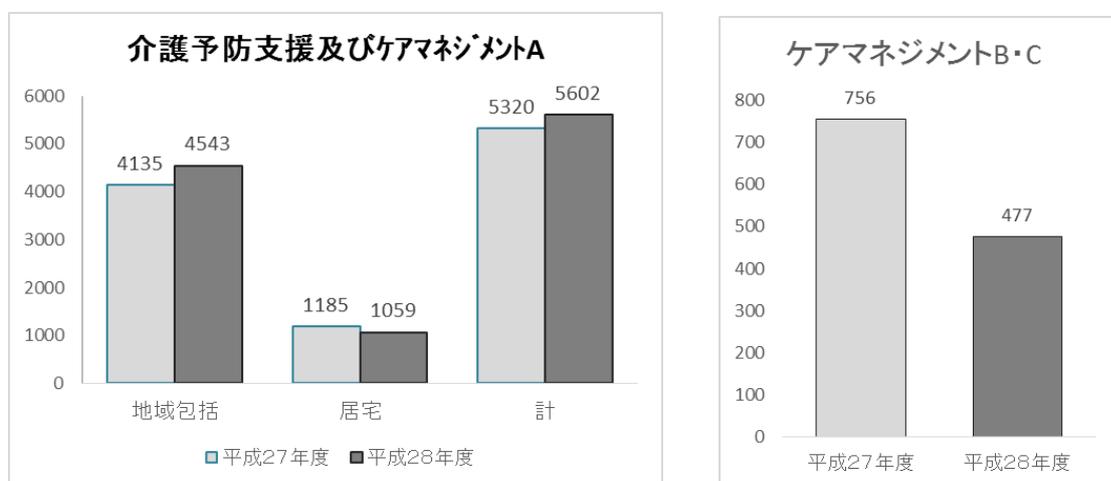
1. 介護予防ケアマネジメント事業

要介護状態等になることを予防するため、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、介護予防事業に積極的に参加し、日常生活の中で介護予防の取り組みを習慣化し、住み慣れた地域で元気に過ごしてもらうことを目的に以下の事業を実施しました。

平成 28 年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント数

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	359	356	358	365	375	374	390	390	392	395	397	392	4543
居宅介護支援事業所	99	97	95	94	92	87	86	86	81	81	82	79	1059
計	458	453	453	459	467	461	476	476	473	476	479	471	5602

平成 27 年度・平成 28 年度の介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント数比較



【介護予防・生活支援サービス事業】

平成 28 年度介護予防ケアマネジメント B・C※

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメントB	50	49	51	49	44	40	35	32	34	31	31	30	476
ケアマネジメントC	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	50	49	51	49	45	40	35	32	34	31	31	31	477

※ケアマネジメント Bは

簡略化した介護予防ケアマネジメント。サービス担当者会議を省略したケアプランの作成と間隔をあけて必要に応じてモニタリング（介護提供者の活動と利用者の生活を見守る）を行う。

※ケアマネジメントCは

初回のみ介護予防ケアマネジメント。地域包括支援センターによるモニタリングは行わない。

■課題・問題点について

平成28年度は介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントAの介護予防ケアプランの延べ作成件数が前年比で282件増加し、居宅介護支援事業所への委託割合では平成27年度22.2%から平成28年度は18.9%と3.3%減少しています。地域包括支援センターで担当する介護予防ケアプラン作成件数（ケアマネジメントB・C含む）が前年比で129件増となっており、人員体制の強化が課題となっています。

■今後の方向性

増加する介護予防ケアマネジメント業務に対応するため、他業務と兼務して介護予防ケアプラン作成担当者を増員し人員体制の強化を図ります。

2. 総合相談事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、適切なサービス等が利用できるよう関係機関等との連絡調整を行いました。また、公的サービス以外でも地域福祉活動やボランティア活動等の非公的サービス利用も含めた支援が行えるようネットワークの構築を図りました。

◇各種相談受付及び介護認定申請代行状況

■相談件数

(単位：件)

認知症関係	権利擁護関係			総合相談支援業務関係		
	高齢者虐待に関する相談	権利擁護、成年後見に関する相談	消費者被害に関する相談	介護や介護保険等福祉に関する相談	健康や病気など保険、医療に関する相談	その他の相談
9	2	1	0	122	7	8
総 数				149		

■相談対応

相談対応方法	件数	割合 (%)
介護認定申請手続き代行	64	30.5
担当ケアマネに連絡	6	2.8
サービスや制度の紹介	71	33.8
在宅介護支援に連絡	1	0.5
行政機関に連絡	15	7.1
医療機関へ連絡	33	15.8

民生児童委員に連絡	11	5.2
その他（福祉用具の自費レンタル等）	9	4.3

◇地域支援ネットワーク構築

○要援護高齢者等実態把握調査実施（平成28年4月：民生児童委員協議会の協力）

地区名	虚弱	独居			高齢者のみ	
		男	女	計		内、高齢者夫婦
佐敷地区	114	85	231	316	335	303
平成27年度	116	77	229	306	332	303
前年比	98.3%	110.4%	100.9%	103.3%	100.9%	100.0%
吉尾地区	29	21	73	94	66	54
平成27年度	27	21	68	89	68	57
前年比	107.4%	100.0%	107.4%	105.6%	97.1%	94.7%
大野地区	13	19	62	81	76	64
平成27年度	19	19	64	83	73	62
前年比	68.4%	100.0%	96.9%	97.6%	104.1%	103.2%
湯浦地区	92	69	209	278	244	218
平成27年度	108	64	216	280	251	227
前年比	85.2%	107.8%	96.8%	99.3%	97.2%	96.0%
田浦地区	74	77	132	209	272	252
平成27年度	81	74	129	203	267	247
前年比	91.4%	104.1%	102.3%	103.0%	101.9%	102.0%
合計	322	271	707	978	993	891
平成27年度	351	255	706	961	991	896
前年比	91.7%	106.3%	100.1%	101.8%	100.2%	99.4%

○社会福祉協議会との連絡調整

生活支援体制整備事業における協議体設置にむけて、社会福祉協議会地域福祉係と打ち合わせを行い、タイムスケジュール等を確認。（平成28年12月28日）

◇福祉用具の貸与状況（緊急かつ臨時的）

車椅子	ベッド	吸引器	ポータブルトイレ	マットレス	シャワーチェア
0	13	1	5	1	3

■課題・問題点について

高齢化率の更なる進展、独居高齢者及び高齢者のみの世帯の増加が見られ、介護や介護保険等福祉に関する相談等が更に増加してくることが見込まれます。

■今後の方向性

住民生活課、福祉課、社会福祉協議会、民生児童委員、地域福祉活動推進員等の関係機関、団体等との連携強化を図り、総合相談体制を充実します。

3. 権利擁護事業

権利侵害を受けている、または受ける可能性がある高齢者が、住み慣れた地域で安心して、尊厳のある生活を行うことができるよう関係機関等との連携を図りました。また、高齢者虐待や消費者被害等が未然に防止できるよう普及啓発を行いました。

◇高齢者虐待・消費者被害防止等の為の普及啓発活動

○民生児童委員協議会定例会での周知：毎月1回（見守り新鮮情報：消費者被害防止等の為の啓発）

○広報あしきた（平成28年11月号）に「高齢者・障害者の虐待をなくそう、町内における虐待事例」掲載

◇高齢者虐待を含む権利侵害等ケースへの支援

期 日	分 類	ケース概要及び対応状況
5月20日	身体的虐待	認知症の疑いのある被虐待者に生活上の注意をしても改善されなかったことに立腹し、数回殴打と芦北警察署より、福祉課高齢者福祉係へ連絡があり対応を協議。ケガは無く病院受診するほどではなく、民生委員に連絡し地域で見守ることとなる。
2月8日	心理的虐待、介護世話の放棄（疑い）	他界した父が長男夫婦から言葉による暴力や介護世話の放棄を受けており、母にも同じような対応をするのではないかと心配した姉妹より来所相談がある。介護サービス等を利用することで、未然防止につながることを説明。

■課題・問題点について

高齢者虐待等の権利侵害を受けているケースについては、顕在化しにくい傾向があり、高齢者虐待に気づく視点や悪徳商法の手口等を紹介し、未然防止の為の啓発活動を継続していく必要があります。

■今後の方向性

高齢者虐待防止に関する研修会や広報誌等での周知を行います。また、福祉課高齢者福祉係と連携し、消費者被害ケースや高齢者虐待ケースに対して迅速に適切に対応していきます。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント事業

介護支援専門員等の資質向上を図るため、芦北町介護支援専門員等ネットワーク連絡会による研修会を開催するとともに、地域ケア会議等を通して介護支援専門員への個別支援を行いました。

◇芦北町介護支援専門員定例会開催状況

毎月1回第3水曜日午後1時30分から開催し、21名～26名の参加がありました。

◇芦北町介護支援専門員等ネットワーク研修会及び各種研修会開催状況

開催日	活 動 実 績	参加者数
7月15日	芦北町介護支援専門員等ネットワーク研修会 「福祉レクリエーション勉強会」	45名
2月22日	介護支援専門員研修会「課題整理総括表について①」	25名
3月22日	介護支援専門員研修会「課題整理総括表について②」	26名

◇地域ケア会議等開催状況

開催日	テーマ	参加者数
4月20日	過疎地域で安心して暮らすには	12名
5月18日	家族に負担をかけすぎずに在宅で暮らしていくには	10名
6月16日	一人暮らしを地域で支えるには	12名
7月20日	不安なく外出することができ清潔な環境で在宅生活を続けていくには	7名
8月17日	夫に負担をかけすぎずに安全な生活を送るには	11名
9月21日	安全に外出し穏やかな生活を送るには	12名
10月19日	体調を整え身の回りのことを一人でできるようになるには	10名
11月16日	サービスの受け入れを拒否される高齢の男性を地域で支えるには	14名
12月21日	体調を整え以前のように外出できるようになるには	13名
1月18日	在宅生活を続けながら外出ができるようになるには	11名
2月15日	夫に負担をかけすぎずに元気で在宅で暮らしていくには	11名
3月15日	不安ない生活を送り住み慣れた地域で暮らしていくには	12名

◇介護給付費適正化ケアプランチェック

介護保険係が行うケアプランチェックに主任介護支援専門員が協力し、地域包括支援センター及び町内居宅介護支援事業所の62ケースのケアプランチェックを行いました。

■課題・問題点について

地域包括ケアシステム構築に向けて、地域ケア会議では個別事例の検討から地域課題の把握を行っております。地域課題の把握はできていますが、地域課題の検証、地域づくり・資源開発や政策形成の次のステップに繋がっていません。

■今後の方向性

地域ケア会議で積み上げてきた地域課題を第7期介護保険事業計画策定や協議体で検証し、生活支援サービス開発等に反映できるよう、介護保険係と連携を図りながら事業を展開します。

5. 認知症総合支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で生活を続けていくために、地域における医療及び介護の連携強化並びに町内に居住する認知症が疑われる人、認知症の人及びその家族に対する支援体制の強化を図りました。

(1) 認知症初期集中支援推進事業

《認知症初期集中支援チームに関する普及啓発》

・花岡東地区サロン（9/28）、民生児童委員協議会定例会、認知症学習会（田浦3・4地区）、認知症サポーター養成講座、生き生き大学（6/2）で認知症初期集中支援チームについて説明を行いました。

《訪問支援対象者の把握》

- ・介護保険認定者で認知症高齢者の日常生活自立度がⅡa以上で、サービス未利用の方を抽出。（日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態）
- ・かかりつけ医や家族、関係機関からの相談。

《認知症初期集中支援チーム員会議開催状況》

開催日	活動実績	参加者数
4月28日	初回事例の検討1件、経過報告2件	11名
5月17日	経過報告3件	11名
6月17日	経過報告4件	9名
7月22日	経過報告4件（内終了1件）	11名
8月19日	経過報告3件	10名
9月16日	経過報告1件	10名
10月21日	経過報告2件	9名
11月18日	初回事例の検討1件、経過報告2件	10名
12月16日	経過報告3件	11名

1月27日	経過報告3件	10名
2月24日	経過報告3件（内終了1件）	8名
3月17日	経過報告2件	10名

《認知症初期集中支援チーム検討委員会開催状況》

開催日	活動実績	参加者数
6月2日	芦北町認知症初期集中支援チーム検討委員会要綱について 委員長及び副委員長の選出 委員長及び副委員長あいさつ 事務局紹介 芦北町における認知症初期集中支援チームについて 平成27年度の認知症総合支援事業の実施状況について 平成28年度の事業計画について	10名
3月29日	① 平成28年度の認知症総合支援事業の実施状況について ② 平成29年度の認知症総合支援事業計画について ③ その他（次回開催時期について）	8名

(2) 認知症地域支援・ケア向上推進事業

○認知症地域支援推進事業

《認知症を抱える家族会「たけのこ会」への活動支援》

- ・夜の部（毎月第2水曜日 19時から21時 2名～3名の参加）
- ・昼の部（毎月第3水曜日 13時30分～15時30分 3名～12名の参加）
- ・リフレッシュ会（10月20日）、新年会（1月18日）、花見（3月29日）



《認知症フォーラム開催》

開催日	活動実績	参加者数
2月19日	【第1部】認知症講演会「正しく知ろう認知症～認知症とのかかわり～」 講師：福岡大学名誉教授 藤原道弘氏 【第2部】討論会「芦北町の認知症の現状について」 専門職を含めた討論会	90名

○認知症ケア向上推進事業

《平成 28 年度認知症サポーター養成講座開催状況》



(芦北高校福祉科、民生児童委員協議会での認知症サポーター養成講座の様子)

・学校（高校）1 回、地域 4 回計 5 講座開催し、132 名の認知症サポーターを養成。

《キャラバンメイト連絡会》

実施日	活動実績	参加者数
6 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度活動状況について ・平成 28 年度の認知症サポーター養成講座開催予定について ・平成 27 年度キャラバンメイトスキルアップ研修復命（小中学校におけるサポーター養成講座について） ・その他（意見交換） 	18 名

《キャラバンメイトスキルアップ研修会》

実施日	活動実績	参加者数	場所
3 月 7 日	キャラバンメイト用事例集等を活用した事業所及び小学校における認知症サポーター養成講座について（模擬講座、ポイント解説、グループワーク）	10 名	氷川町文化センター

《認知症学習会（講師：竹本医院 院長 森健一郎先生）》

実施日	活動実績	参加者数	場所
2 月 24 日	<田浦 3 地区> 認知症とはどのような病気か ～予防と早期発見の重要性～	19 名	田浦 3・4 地区 集会所
2 月 28 日	<田浦 4 地区> 認知症とはどのような病気か ～予防と早期発見の重要性～	15 名	大木場地区ふれ あいセンター

《芦北町認知症ケア・高齢者虐待防止等研究会活動状況》

実施日	活動実績	参加者数	場所
7月27日	運営委員会 ・平成27年度活動報告 ・平成28年度活動計画について	9名	きずなの里 ボランティア室
10月27日	研修会 「認知症ケアの現状」 ～軽度認知障害（MCI）と診療所型認知症 疾患医療センターについて～ 講師：佐藤クリニック 院長 佐藤宏様	85名	きずなの里 トレーニング室
3月22日	研修会 「高齢ドライバーの現状と改正道路交通 法のポイント」 講師：芦北警察署 吉田誠治様	65名	きずなの里 トレーニング室

《研修会開催状況》



■課題・問題点について

高齢化率の進展に伴って認知症高齢者の更なる増加が考えられ、認知症初集中支援や認知症の方やその家族を地域全体で支えていく体制を構築していくことが急務となっています。

■今後の方向性

平成28年度から認知症初期集中支援の取組みが本格的に始まり、毎月1回のチーム員会議が開催され、支援方針等の検討が行われており、今後もこの取組みを充実します。また、認知症地域支援推進事業で認知症フォーラムを開催し、住み慣れた地域で誰もがその人らしく生き生きと過ごせるような地域を目指します。

6. 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築に向けた準備をおこないました。

- ◇生活支援コーディネーターを配置
- ◇地域ケア会議への参加（毎月1回第3水曜日）
- ◇社会福祉協議会との連絡調整
 - ・芦北町民生児童委員との連携（定例会へ参加）
 - ・ボランティア連絡協議会への参加（2回）
 - ・地域福祉座談会への参加（2/18…乙千屋地区）
- ◇協議体設置に向けた勉強会開催

開催日	活 動 実 績	参加者数
1月31日	「生活支援コーディネーター及び協議体とは」 ～その目的、仕組みについて～	8名
2月20日	芦北町各地域の現状把握について	9名
3月23日	介護保険制度改正事項について、平成29年度協議体 年間計画について	7名

■課題・問題点について

平成28年度は協議体設置に向けた準備期間となり、住民生活課、社会福祉協議会、地域包括支援センターで協議を重ね、協議体設置に向けた勉強会を3回開催し、協議体や生活支援コーディネーターの役割、機能等を確認しています。平成29年度からは、協議体の活動が本格的に始まることとなっており、関係機関、協議体メンバーの更なる連携強化が必要となっています。

■今後の方向性

芦北町内で特に高齢化率が高くなっている吉尾地区（旧吉尾村）、大野地区（旧大野村）を対象に、協議体での意見を参考にしながら各地区で連絡会を立ち上げ、地域での支え合いの仕組みづくりや生活支援サービス提供体制の構築をサポートします。

⑨転倒骨折予防事業（地域包括支援センター：介護予防事業係）

1. 転倒骨折予防事業

事業の目的

町内68地区の公民館等において、高齢者ができる限り介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活を送れるよう、日常生活における健康相談や運動機能訓練等を提供することを目的に開催しております。

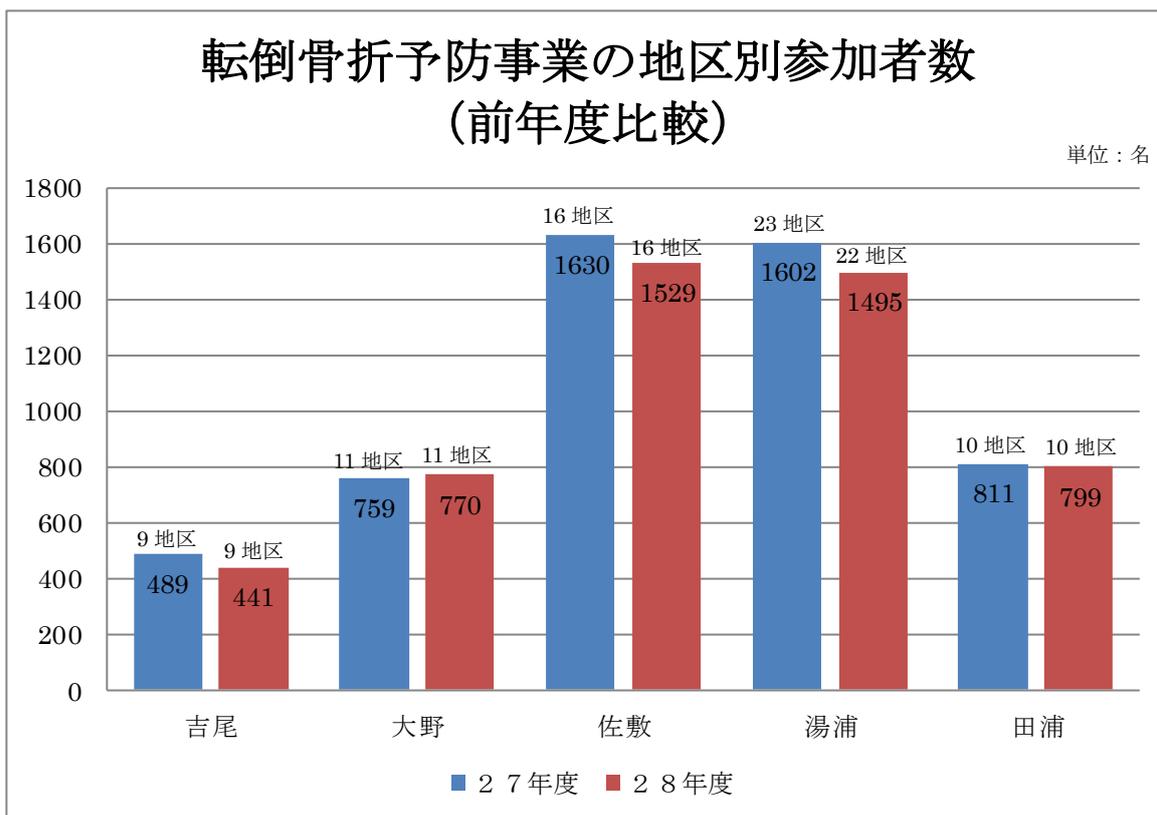
事業内容

参加者自身の健康づくりを楽しみながら行っていただけるよう実施しています。

- (1) 運動機能向上：柔軟体操、バランス体操、運動器具を使った筋力運動、いきいき100歳体操、身体を使ったレクリエーション等
- (2) 認知機能向上：複合運動や指体操などの脳トレーニング・音楽療法・図形・パズル等
- (3) 口腔ケア：健口体操・唾液腺マッサージ等

開催状況

(1) 参加延べ人数及び開催地区数の推移は次のとおりです。



(2) サロン活動へ移行

介護予防サポーターが多い地区では、介護予防サポーターが中心となって地元でサロン活動を始めました。

月2回開催していた、たっしや会を月1回にし、サロン活動に移行しました。

花岡東地区：平成28年8月よりサロン活動

花岡西地区：平成28年11月よりサロン活動

(3) 開催中止地区及び参加者の減少理由

開催中止や参加者の減少理由としては参加者の高齢化や入院・介護保険認定による介護サービス利用に移行された事と、新しい参加者が増えていないことが考えられます。また、4月の熊本地震で余震が続いた時期には開催を中止された地区もありました。

【平成28年度中に開催を中止した地区】

- ①道園地区（湯浦） 平成28年4月より開催中止
- ②大岩1・2地区（吉尾） 平成29年3月より開催中止
- ③屋敷野地区（大野） 平成29年3月より開催中止

道園・大岩地区には、区長等を通じチラシを配布し説明会を行いました。大岩地区に関しては、地区のお宮祭りやグラウンドゴルフ場にて休憩時間を利用し、介護予防の必要性や継続していくことの重要性等について説明し、実施を訴えましたが2地区共に参加の見込みがなく開催を中止することとなりました。

屋敷野地区は、もともと世帯数が少なく参加者の大半が介護サービスに移行され、地区の意向で中止となりました。

活動風景

体操やレクリエーションなどを交えながら、自宅での運動に繋がるよう開催しました。



【たっしゅか体操】 【認知機能向上・パズル】【運動機能向上・レクリエーション】

課題と今後の展望

高齢化が進むにつれ参加者の減少や開催を中止したりする地区も出てきました。こういった状況を打開するため、芦北町全戸に介護予防を紹介したチラシの配布や、老人会の会合等へ参加し、早期からの介護予防の必要性を訴えました。

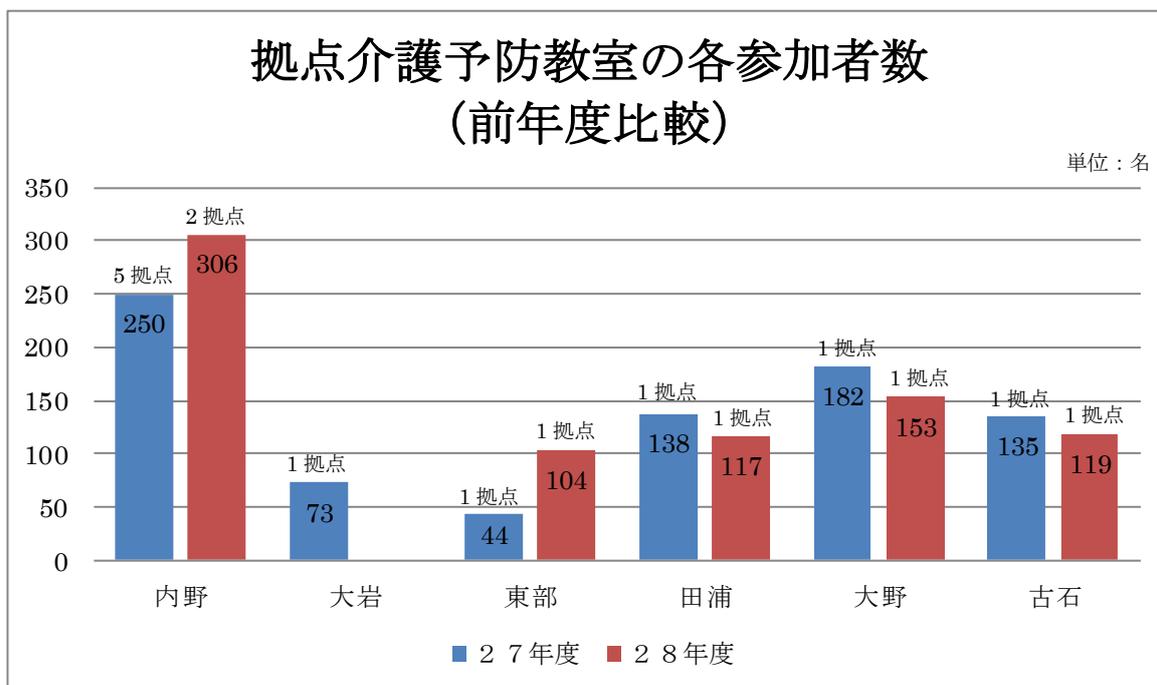
今後も引き続き、各地区のグラウンドゴルフ会場・老人会の誕生会や月例会に出向き、介護予防の必要性について理解していただき、参加を促してまいります。

2. 拠点事業

事業目的

拠点事業は公民館等で開催している転倒骨折予防事業とは違い、短時間でしっかりと運動し、運動機能や認知機能の維持・改善を目的に開催しております。

拠点活動開催状況



平成28年度は参加者の減少により開催地区の合併を行いました。

*平成 28 年度中に合併させた地区

平成 27 年度に開催した拠点	平成 28 年度に開催した拠点
内野福祉センター（大川内・元大川内）	内野福祉センター（湯浦）
内野福祉センター（宮崎・湯東）	
内野福祉センター（丸山・米田・中木場・城迫）	
大岩生涯学習センター	東部保健福祉センター
東部保健福祉センター	

活動内容

①運動機能向上

- ・ソフトバランスボールを使ったストレッチ
- ・ストレッチローラーを使ったストレッチ
- ・ノルディックウォーキング（運動器具を使った歩行運動）
- ・いきいき 100 歳体操（錘を使用した筋力アップ体操）
- ・スクエアステップ（認知機能向上も含めた転倒予防運動）
- ・ロコリングやハンドグリップなどを使用した上半身強化運動
- ・ステップ台を使用した下半身強化運動

②認知機能向上

- ・認知機能向上のためのパズルや指体操
- ・2 つ以上の動作を行う複合運動
- ・歌を交えた運動（音楽療法）

③口腔機能向上（口腔体操・唾液腺マッサージ等）

④効果測定（体力測定）

活動風景



【ノルディックウォーキング】



【いきいき 100 歳体操】



【パズル】



【スクエアステップ】

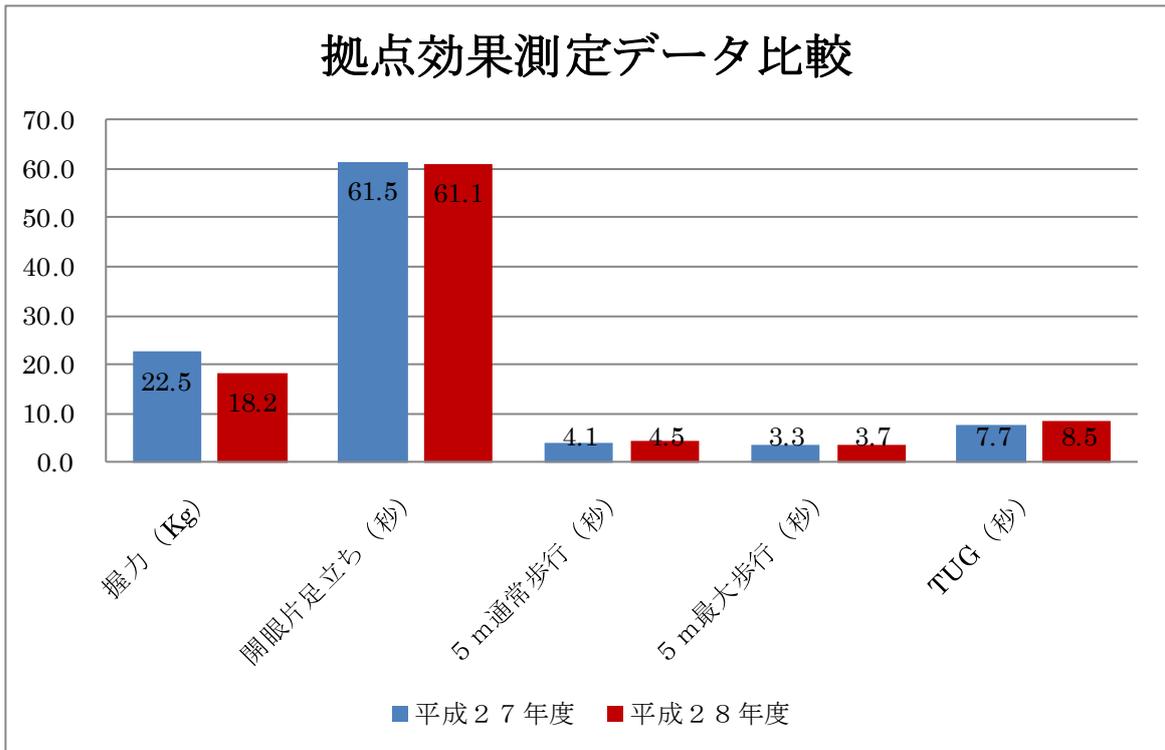


【開眼片足立ち】



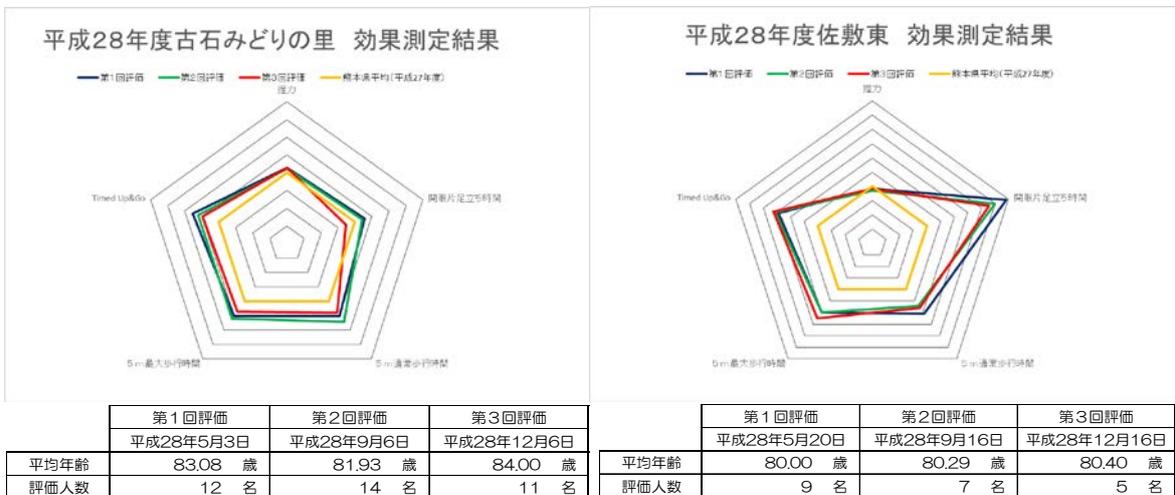
【地域間交流グラウンドゴルフ】

効果測定データの比較

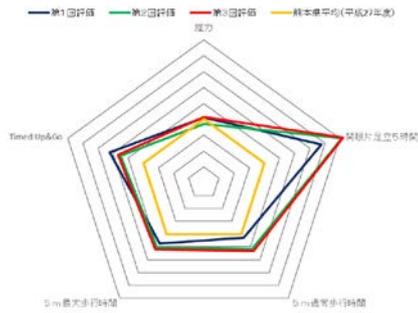


このグラフは平成27年度と平成28年度の参加者（湯浦地区）の測定データ比較です。平成25年度から県内で統一された方法で効果測定を実施しております。

ほとんどの項目において前年度と比較してほぼ維持ができています。参加者の平均年齢が80歳でありながら、開催中に行う体操や筋力の維持・向上を目的とした運動等による成果が出ているものと思われます。また、それぞれの拠点での測定データは、熊本県平均値と比較してありおおむね熊本県平均値を上回っています。特に開眼片足立ちは、県平均値を大きく上回っている地区もありました。

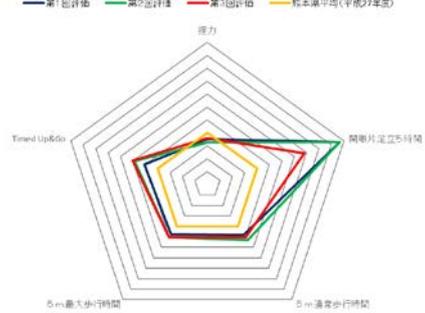


平成28年度佐敷南 効果測定結果



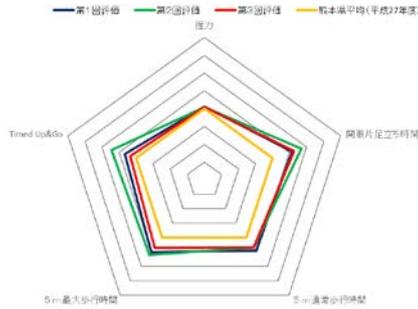
	第1回評価	第2回評価	第3回評価
	平成28年5月6日	平成28年9月2日	平成28年12月2日
平均年齢	76.86 歳	77.89 歳	75.30 歳
評価人数	14 名	9 名	10 名

平成28年度大川内・豊岡 効果測定結果



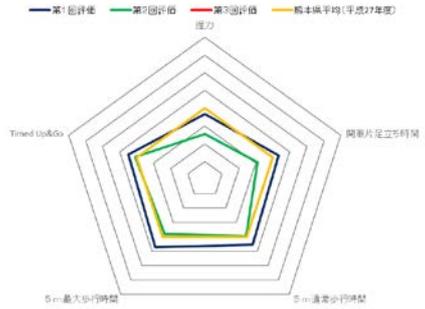
	第1回評価	第2回評価	第3回評価
	平成28年5月20日	平成28年9月16日	平成28年12月16日
平均年齢	81.40 歳	80.25 歳	81.80 歳
評価人数	5 名	4 名	5 名

平成28年度大野 効果測定結果



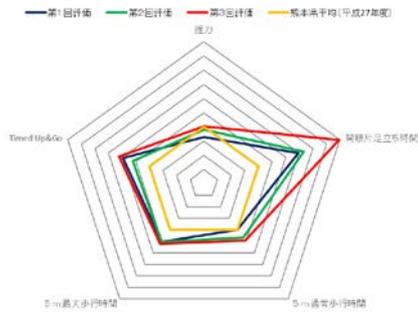
	第1回評価	第2回評価	第3回評価
	平成28年5月2日	平成28年9月5日	平成28年12月5日
平均年齢	79.33 歳	78.38 歳	79.91 歳
評価人数	12 名	16 名	11 名

平成28年度田浦東 効果測定結果



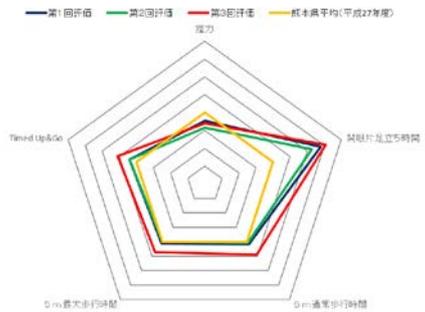
	第1回評価	第2回評価	第3回評価
	平成28年5月10日	平成28年9月13日	
平均年齢	80.83 歳	83.00 歳	歳
評価人数	6 名	3 名	名

平成28年度東部 効果測定結果



	第1回評価	第2回評価	第3回評価
	平成28年5月27日	平成28年9月23日	平成28年12月23日
平均年齢	77.82 歳	79.00 歳	77.25 歳
評価人数	11 名	13 名	8 名

平成28年度湯浦 効果測定結果



	第1回評価	第2回評価	第3回評価
	平成28年5月16日	平成28年9月19日	平成28年12月19日
平均年齢	79.78 歳	80.80 歳	81.00 歳
評価人数	9 名	10 名	6 名

(効果測定内容)

※握力・・・椅子に座った状態で握力を計測するもの

※開眼片足立ち・・・腰に手を当て、片足立ちで静止した間を計測するもの

※5m通常歩行・・・スタート地点から通常歩行速度（普段通りの歩く早さ）で5m先の目印に到達するまでの時間を計測するもの

※5m最大歩行・・・スタート地点から最大歩行速度（早歩き）で5m先の目印に到達するまでの時間を計測するもの

※TUG・・・椅子に座って、合図と同時に3m先のコーンを回り、再度椅子に座るまでの時間を計測するもの

課題と今後の展望

課題としては、参加者の減少が挙げられますが、本年度は参加者の少ない地区を併せ拠点教室を開催したことで、参加者も人数が少ないと張り合いがなかったが最近は人数が多いので楽しいと言って参加されています。しかし平均年齢は80歳なので転倒骨折予防事業同様、地域の寄り合いや老人会の会合、チラシ等を使い早期からの介護予防の必要性について理解していただき、参加を促して参ります。

また、専門的な運動器具（ソフトバランスボール、ロコリング、ノルディックウォーキング、ストレッチローラー）等を積極的に活用し、運動機能の維持・改善に努めて参ります。

3. 介護予防サポーター育成事業

事業の目的

自身の介護予防のために知識を深め、地域での介護予防活動に取り込むことで、安心して暮らせる地域づくりを推進するため、平成22年度から介護予防サポーター養成講座を実施しております。

所定の養成講座を受講後は、介護予防サポーターとして登録され、公民館等での転倒骨折予防事業の開催支援や拠点事業での参加者への支援等を行います。

また、介護予防サポーターのスキルアップや活動内容の充実を目的に年数回の介護予防サポーターフォローアップ講座を開催しております。

養成講座の流れ

介護予防についての基礎知識や体操、レクリエーションの方法など、必要な内容を1日間の日程にまとめ、受講していただきました。平成28年度は、きずなの里、大野出張所、田浦福祉センターで年3回開催しました。講座の内容については次のとおりです。

介護予防サポーター養成講座の日程

- | | |
|-----|--|
| 第1部 | 開講式、介護予防の必要性、下肢筋力アップのストレッチ① |
| 第2部 | 転倒骨折予防について、下肢筋力アップのストレッチ② |
| 第3部 | 健康チェックの方法、健康（たっしゅか）体操
リズム体操（あしきた健康体操） |
| 第4部 | レクリエーション、脳トレーニング、閉講式 |

養成講座風景



【第1回きずなの里会場】 【第2回大野出張所会場】 【第3回田浦福祉センター会場】

登録状況

現在、介護予防サポーターは7期生までの115名が養成講座を修了しており、年度ごとの登録者数については次のとおりです。

平成22年度（1期生）	34名（内訳：湯浦16名、佐敷9名、田浦5名、大野4名）
平成23年度（2期生）	17名（内訳：湯浦5名、佐敷6名、田浦5名、大野1名）
平成24年度（3期生）	17名 （内訳：湯浦2名、佐敷2名、田浦4名、大野3名、吉尾6名）
平成25年度（4期生）	11名（内訳：湯浦5名、佐敷2名、大野1名、吉尾3名）
平成26年度（5期生）	14名（内訳：湯浦5名、佐敷5名、田浦3名、大野1名）
平成27年度（6期生）	8名（内訳：佐敷4名、田浦4名）
平成28年度（7期生）	14名（内訳：湯浦6名、大野・吉尾4名、田浦4名）
介護予防サポーター受講者総数	115名

介護予防サポーターとして毎月各公民館等に派遣しておりますが、平成28年度の延べ活動人数につきましては次のとおりです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
142名	142名	188名	145名	141名	141名	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
132名	155名	149名	118名	132名	135名	1,720名

なお、平成28年度はサポーターによる活動の充実を図ることを目的に、介護予防サポーターフォローアップ研修会（勉強会）として体操指導法の統一とレクリエーションの進行や、水俣市で開催されている音楽療法の視察研修を行いました。

介護予防サポーターによる活動風景



【健康チェック】

【音楽療法指導】

【たっしゅか体操指導】

課題と今後の展望

定期的に介護予防サポーター養成講座を開催しておりますが、特に大野・吉尾方面においては依然として介護予防サポーターの受講生が少なく、他地区の介護予防サポーターを配置して対応している状況です。

平成28年度は、このような問題を解決するために、その地域での資源（人材）の発掘を進めるとともに、地域福祉活動推進員に介護予防サポーター養成講座の受講と介護予防サポーターの協力をハガキにて依頼しましたが14名の参加でした。今後も当協議会内で養成しているそれぞれのボランティア等とも協力しあえる体制づくりを進めていく必要があります。更に、福祉関係職種等に従事されていた方などに協力依頼を行っていきたいと思います。

また、これまで同様介護予防サポーターフォローアップ研修会を定期的に開催し、サポーターの質の向上を図って参ります。

⑩水俣病発生地域高齢者等在宅支援事業

1. 事業目的

水俣病発生被害者地域における高齢の水俣病被害者等が地域の中で安心して在宅生活を営むことができるよう、日常生活の質の向上及び社会参加の促進に資する取り組みを行います。



2. 対象地区

女島地区：福浦・沖・女島西・平生

佐敷西地区：鶴木山・計石西・計石東

田浦西地区：田浦町1・3・4・波多島・井牟田1・2

田浦南地区：小田浦5・6・7・海浦1・2

3. 拠点介護予防教室の開催状況

(女島拠点：第1～第4木曜日開催)

(佐敷西拠点：第1・3火曜日開催)

(田浦西拠点：第1水曜日開催)

(田浦南拠点：第2・4水曜日開催)

- (1) 運動機能向上：柔軟運動、運動器具を使った体操・筋力運動
いきいき100歳体操・ノルディックウォーキング等
- (2) 認知機能向上：複合運動や指体操などの脳トレーニング・図形・パズル・音楽療法等
- (3) 口腔機能向上：健口体操・唾液腺マッサージ等
- (4) その他健康教室
 - ① 歯科衛生士による口腔ケア教室
平成28年6月1日：田浦西地区
6月7日：佐敷西地区
6月8日：田浦南地区
6月23日：女島地区
 - ② 水俣・芦北音楽療法情報センターによる音楽療法教室
平成28年11月1日：佐敷西地区
11月2日：田浦西地区
11月9日：田浦南地区
11月10日：女島地区
 - ③ 芦北町住民生活課保健センターの保健師による健康講話
平成29年3月1日：田浦西地区
3月21日：佐敷西地区
3月23日：女島地区

* 田浦南地区の開催は、平成29年4月26日に実施予定
- (5) 自宅での運動：ホームプログラム（自宅でチャレンジ）による訪問指導
平成28年4月・8月・12月：女島地区の訪問
平成28年5月・9月・平成29年1月：佐敷西地区の訪問
平成28年6月・10月・平成29年2月：田浦西地区の訪問
平成28年7月・11月・平成29年3月：田浦南地区の訪問
- (6) 効果測定（年3回実施）
 - ① 個々に対して評価
 - ② 海岸地域と山間地域のデータ比較

(7) 交流会

1. 地域間交流（グラウンドゴルフ）

平成 28 年 5 月 26 日：女島地区と佐敷南（田川・花岡東・八幡）地区

5 月 30 日：佐敷西地区と田浦東（田浦 1・2・3・4・横居木）地区

10 月 5 日：田浦西地区と内野（大川内・豊岡）地区と交流

10 月 12 日：田浦南地区と佐敷東（諏訪・宮浦）地区と交流

2. 世代間交流（芦北町内近隣保育園の子ども達との交流）

平成 28 年 8 月 2 日：佐敷西地区と計石保育園

8 月 3 日：田浦西地区と芦北保育園

8 月 4 日：女島地区と湯浦保育園

8 月 10 日：田浦南地区と芦北保育園

(8) ゆめもやい開催状況及び延べ参加者数

①女島拠点（月 4 回／第 1～4 木曜日開催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
参加者数	34	46	41	32	30	36	42	41	40	34	40	41	457

②佐敷西拠点（月 2 回／第 1・3 火曜日開催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	2	3	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	24
参加者数	33	48	30	23	17	22	24	36	40	19	43	40	375

③田浦西拠点（月 1 回／第 1 水曜日開催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
参加者数	2	11	9	11	6	14	9	22	8	7	9	12	120

④田浦南拠点（月 2 回／第 2・4 水曜日開催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	△	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
参加者数	△	31	28	26	29	30	42	45	31	35	38	31	366

活動風景写真



【いきいき 100 歳体操】



【ステップ台運動】



【ノルディックウォーキング】



【図形】



【スクエアステップ】



【複合運動】



【口腔ケア教室】



【音楽療法教室】



【保健師等による健康講話】



【世代間交流会】

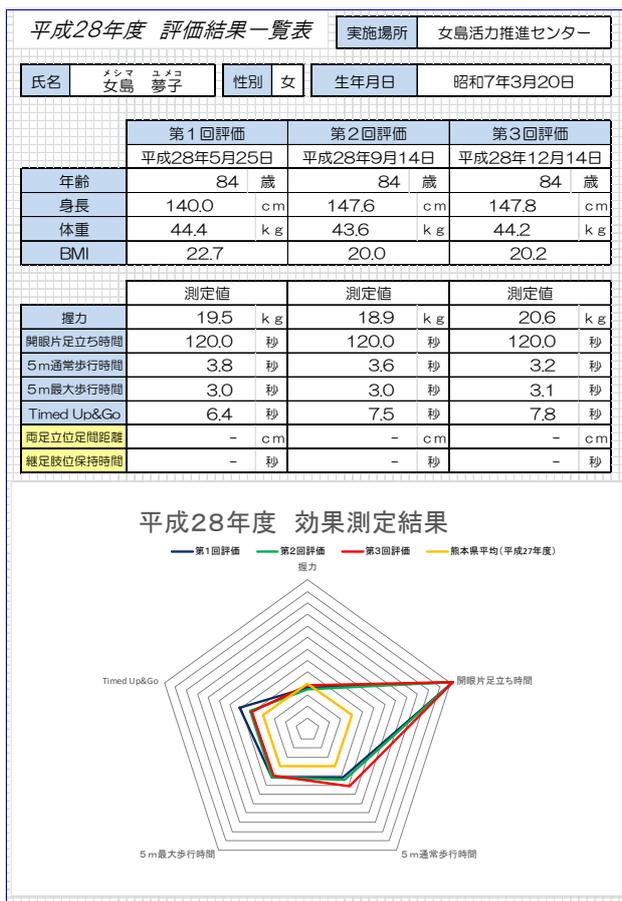


【地域間交流会】



【効果測定】

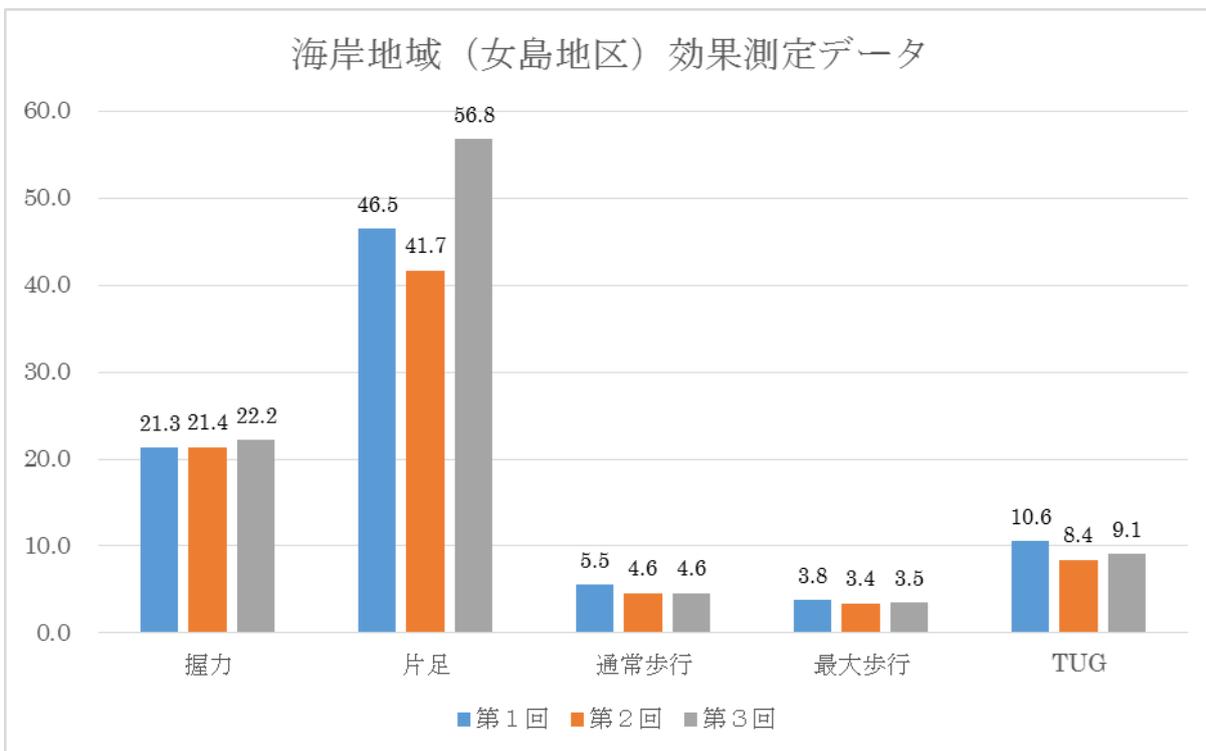
4. 効果測定データ

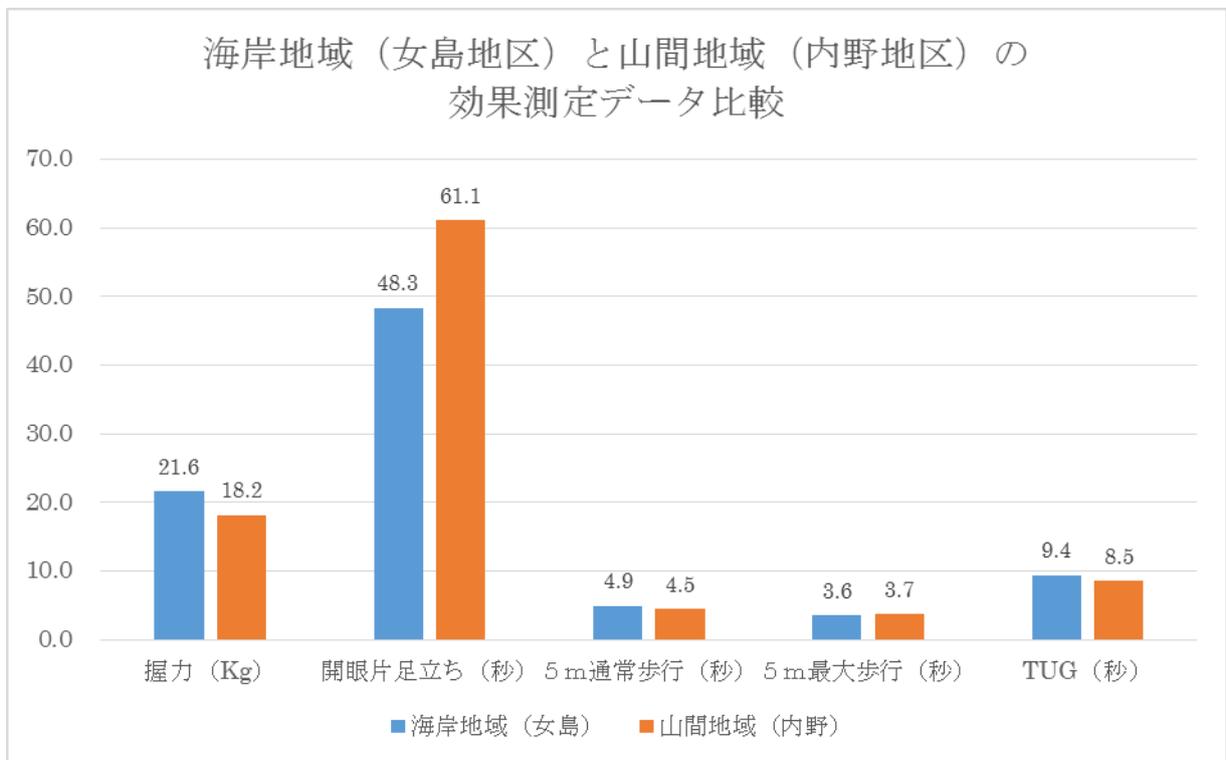
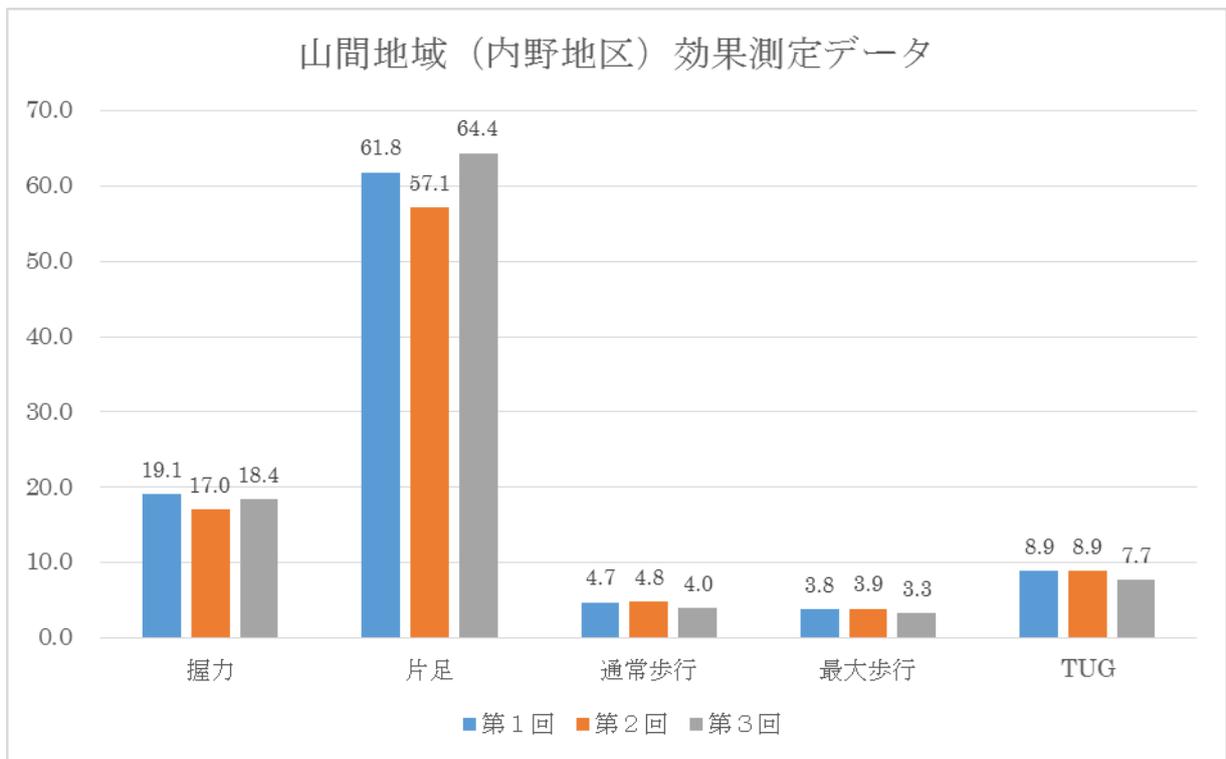


左の表は効果測定の個別評価結果一覧表です。平成28年度に実施した3回分のデータを1枚の用紙にまとめ、個々の測定項目がどのように変化しているかを比較しています。

スタッフが個別に説明を行い、それぞれに必要な運動等のアドバイスを行いました。

今年度は、体幹バランス力の強化を図ることを目的に自宅での運動（ホームプログラム）開眼片足立ち運動を重点的に取り組みました。結果、多くの参加者の方が実施前、後では、効果がありました。





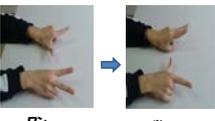
このグラフは海岸地域（女島地区）と山間地域（内野地区）の効果測定データです。

平成26年度・27年度に引き続き、年3回の効果測定を実施しました。すべての測定項目で年間通して大きな変化はなく、熊本県の平均数値を上回っていると判断され、運動機能の維持ができています。平成28年度は、筋力増強や体幹バランスを強化することで転倒防止につなげていただこうと考え、介護予防教室の中で、沿岸部も山間部も全地区

にいいき 100 歳体操や開眼片足立ちを取り入れたところ、全体的に維持向上できました。山間部の拠点介護予防教室が向上したのは筋力増強運動を取り入れた結果と考えます。沿岸部は、介護予防教室での筋力増強運動及び自宅での運動（ホームプログラム）による成果が出ているものと思われます。

5. 訪問指導

ホームプログラム『自宅でチャレンジ』を対象地区の 65 歳以上の方へ配布し、訪問指導、説明を行いました。

自宅でチャレンジ(6月～9月)	自宅でチャレンジ(10月～1月)	自宅でチャレンジ(2月～5月)
下肢・運動  目標 右・左 120秒 効果・バランスアップ ※ 必ず両かにつかましましょう	下肢・筋トレ  太もも(大腿四頭筋) 5秒から10秒足を上げます 1日 右・左 各3回～5回 効果 床からの立上がりやすくなります	下肢・筋トレ  太もも(大腿四頭筋) 5秒位かけて椅子に座り 5秒位かけて立上がり 効果 床からの立上がりやすくなります
脳トレ  Fun ツー 効果 ツーとツェーと言いつつ指を入れ替えます 効果 脳を活性化し認知症予防に繋がります	脳トレ  Gee チューキー ツェー 効果 ツェーとツェーと言いつつ指を入れ替えます 効果 脳を活性化し認知症予防に繋がります	脳トレ  Fun ツー 効果 ツェーとツェーと言いつつ指を入れ替えます 効果 脳を活性化し認知症予防に繋がります
お口の体操  耳下腺マッサージ 顎下腺マッサージ 舌下腺マッサージ 効果 物の飲み込みが良くなります	お口の体操  耳下腺 顎下腺 舌下腺 効果 物の飲み込みが良くなります	お口の体操  耳下腺 顎下腺 舌下腺 効果 物の飲み込みが良くなります

活動風景



【自宅でチャレンジの説明】

6. 課題と今後の展望

対象地区の 65 歳以上の方を訪問し自宅での運動等の指導を行った結果、昨年同様、「まだ仕事で忙しく参加出来ない、まだお世話になる年齢ではない。」などの声が多く、介護予防に対する認識が薄い現状でした。しかし、訪問時、早期からの介護予防等の必要性を紹介したことで、少しずつではありますが、介護予防教室への参加者が増加しました。

そこで、今年度も継続して早い段階からの介護予防の必要性について、チラシを通して訴え、年3回のホームプログラム『自宅でチャレンジ』を対象者に配布し実施指導を行って参ります。

見守り等が必要な方に対しては関係機関と連携し継続して支援を行って参ります。

Ⅲ-2 災害時支援体制の整備

① 災害ボランティアセンター運営及び災害ボランティアへの職員派遣（総務課：地域福祉係）

大規模な熊本地震へ災害ボランティアセンターの運営に携わる職員の派遣や、現地への災害ボランティアの派遣を行い、今後、予想される災害に対し迅速な対応ができるように実施しました。

(1) 芦北町社協職員等災害ボランティア派遣

活動内容	実施日		内容	派遣職員
	年月日	活動日曜		
災害ボランティアセンター派遣（益城町）	H28. 4. 27	3日	災害ボランティアセンターの運営	男子職員（1人）
	H28. 4. 30	4日	〃	〃
	H28. 5. 13	4日	〃	〃
	H28. 6. 11	4日	〃	〃
災害ボランティアセンター派遣（西原村）	H28. 6. 28	4日	〃	〃
	H28. 7. 26	4日	〃	〃
災害ボランティア派遣（御船町）	H28. 6. 4	1日	災害ボランティア活動（瓦礫の撤去等）	職員（6人）
	H28. 6. 11	1日		職員（17人）
	H28. 6. 18	1日		職員（9人）
	H28. 6. 25	1日		職員（7人）
			合計	45名

② 芦北町災害時避難行動要支援者避難支援計画への協力

災害対策基本法の一部改正に伴い国が示した「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」及び芦北町地域防災計画に基づき、風水害や地震等の自然災害に備え、避難行動要支援者の避難支援を迅速かつ的確に実施するため、平常時から避難行動要支援者に関する情報の把握を行い、防災情報の伝達手段・伝達体制を整備し、避難誘導等の支援体制を整備し、避難誘導等の支援体制を確立する。

開催日	開催場所	主な協議内容
H28. 11. 10(木)	芦北町役場	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震の概要と避難行動要支援者の対応について ・避難行動要支援者名簿作成及び更新について ・避難行動要支援者個別計画における作成状況及び今後の予定について ・避難行動要支援者名簿等の取扱いについて ・その他
H29. 3. 22(水)	芦北町役場	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者個別計画の作成状況について ・避難行動要支援者個別計画の今後の活用について ・芦北町見守りカード事業について

IV 地域福祉活動の基盤づくり

IV-1 社協機能・体制の強化

①本所運営事業（総務課：総務係）

(1) 理事会・評議員会の開催及び監査の実施

平成28年度も適正な法人運営を図るため、理事会・評議員会を開催し、事業運営（経営）に関する審議を行いました。

また、業務執行状況及び財産の状況について監事による監査を実施するとともに、監査機能の専門性の充実と住民の信頼を高めるため、税理士事務所に委託し外部監査を実施しました。

①理事会

開催	開催日	出席者		提出議案							専決 処分 報告	
		理事 (書面)	監事	事業 計画	当初 予算	補正 予算	事業 報告	決算 報告	規程 報告	評議 員選		人事 案件
第1回	H28. 5. 26(木)	9名(1名)	1名				1件	1件				1件
第2回	H28. 12. 26(月)	9名(0名)	2名			2件			1件	1件		
第3回	H29. 3. 22(水)	9名(0名)	2名	1件	2件				2件	1件	2件	1件

②評議員会

開催	開催日	出席者		提出議案						専決 処分 報告	
		評議員	監事	事業 計画	当初 予算	補正 予算	事業 報告	決算 報告	規程 関係		役員 選任
第1回	H28. 5. 26(木)	15名	1名				1件	2件			
第2回	H28. 12. 27(火)	17名				2件			1件		
第3回	H29. 3. 23(木)	14名		1件	2件					1件	1件

③監事による監査

決算監査	期 日	平成 29 年 5 月 19 日 (金)
	出席者	監事 2 名 (事務局 : 4 名)
監査対象年度 : 平成 28 年度業務執行の状況及び決算監査		
監 査 事 項 : ①業務執行状況 (事業報告書)		
②収支決算関係		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資金収支計算書、事業活動収支計算書 ・ 財務諸表 (各種台帳等) ・ 会計伝票 (収入伺い、支出負担行為伺い兼支出命令書) ・ 預貯金通帳、定期証書等 		
指摘事項		

④外部 (税理士事務所) 委託監査

月次、決算監査	期 日	月次監査 : 月 1 回 決算監査 : 平成 29 年 5 月 10 日 (水)
	事業所	宍倉税理士事務所
①法人の経営体質強化のために有効な支援		
②適正な収支、財務、利益及び資金計画の立案のための経営管理資料の提供		
③経営助言等		

(2) 財政基盤の強化

社会福祉協議会の財政基盤を強化するため、地域住民、行政及び関係機関・団体への社協活動の理解を深め、地域福祉財源の確保に努めました。

また、新規事業に取り組み安定した財源の確保にも努めました。

(3) 職員の資質の向上

職員の一人ひとりの能力の向上のための研修と上級資格取得への意欲向上へ繋がる勤務条件等の整備を行いました。

また、地域住民へ視点を置き、本所、支所、部門間の連携と情報の共有等を行い組織内の連携強化に努めました。

■職員勤務条件の改善 (給与等の見直し)

正規職員・・・給料表の改定と引き続き給与の見直しの実施 (3ヶ年計画の3年目)

(4) 安全衛生委員会の開催

安全衛生法の第 19 条の規定に基づき、職員の労働安全及び衛生に関する事項を調査審議するため設置し、各月ごと安全衛生委員会を開催しました。

開催	開催日	委員等出席者		主な協議内容
		産業医	委員 (事務局)	
第 1 回	H28. 6. 27(月)	1 名	6 名 (2 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生委員会について ・ 職員研修会「定期健康診断について」 ・ 空調設備清掃と室内の温度管理について ・ 熱中症予防について ・ きずなの里浴室への緊急放送について

第2回	H28. 7. 4(月)	1名	6名 (2名)	産業医 森健一郎氏講演 ・健康診断について (職員参加者45名)
第3回	H28. 8. 8(月)	1名	5名 (2名)	・第1回消防訓練について ・ストレスチェックの実施について
第4回	H28. 9. 12(月)	0名	5名 (2名)	・全国労働衛生週間について ・ストレスチェック制度実施要綱及び実施日程について
第5回	H28. 10. 17(月)	1名	5名 (2名)	・消防訓練の結果について ・ストレスチェック制度実施の経過について ・インフルエンザ対策(予防接種)について
第6回	H28. 11. 14(月)	1名	5名 (2名)	・八幡荘の緊急通報システム受信不具合の対応経過について ・空調設備清掃について ・ストレスチェック制度の結果について
第7回	H28. 12. 19(月)	1名	5名 (2名)	・八幡荘の緊急通報システム受信不具合の対応経過について ・ストレスチェックの評価について ・業務中や私生活における自動車等の運転について
第8回	H29. 1. 16(月)	1名	6名 (2名)	・ストレスチェックの評価について
第9回	H29. 2. 20(月)	1名	5名 (2名)	・ストレスチェックの他の社協による高ストレス者の対応について ・定期健康診断について ・時間外労働・休日労働に関する協定届(36協定)について ・消防訓練について
第10回	H29. 3. 21(火)	1名	5名 (2名)	・定期健康診断結果報告について ・消防訓練結果について ・年間報告及び計画について

(5) 職員研修

■町内施設

社会福祉の専門職としての必要な知識・技術の習得のために町内の他職種施設において職員研修を実施しました。

- ・期日 平成28年7月11日(月)～7月15日(金)
- ・場所 五松園、田の浦荘
- ・参加数 各1名
- ・期日 平成28年8月29日(月)～9月2日(金)
- ・場所 五松園、田の浦荘
- ・参加数 各1名
- ・期日 平成28年9月19日(月)～9月22日(木)
- ・場所 五松園
- ・参加数 1名

■熊本県福祉人材・研修センター（熊本県社会福祉協議会）

○モチベーションアップ研修会

- ・期日 平成 28 年 8 月 2 日～3 日
- ・場所 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 1 名

○市町村社会福祉協議会新任職員研修会

- ・期日 平成 28 年 8 月 24 日～25 日
- ・場所 水俣市総合もやい直しセンター
- ・参加者 2 名

○スーパーバイザー養成研修会

- ・期日 平成 28 年 9 月 6 日～7 日、平成 29 年 2 月 14 日～15 日
- ・場所 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 1 名

○カウンセリング研修会

- ・期日 平成 28 年 10 月 17 日～18 日、平成 28 年 11 月 14 日～15 日
- ・場所 KKR ホテル熊本
- ・参加者 2 名

○リスクマネジメント研修会

- ・期日 平成 28 年 11 月 29 日～30 日
- ・場所 熊本県総合福祉センター
- ・参加者 3 名

■その他（熊本県他）

○認知症地域支援推進員研修会

- ・期日 平成 28 年 9 月 12 日
- ・場所 県庁本館
- ・参加者 1 名

○九州ブロック地域福祉研究会

- ・期日 平成 28 年 9 月 8 日～9 日
- ・場所 宮崎観光ホテル
- ・参加者 4 名

○認知症初期集中支援チーム員研修会

- ・期日 平成 28 年 11 月 19 日～20 日
- ・場所 JR九州ホール
- ・参加者 1 名

○全国ボランティアコーディネーター研究集会 2017

- ・期日 平成 29 年 3 月 4 日～5 日
- ・場所 福岡県大野城市
- ・参加者 4 名

IV-2 広報・啓発活動の推進

① 広報紙・ホームページの充実

「広報きずな」の発行やホームページを通じて活動のPRを行い、社協の理解者・支援者の拡大を図りました。

広報媒体	実施日	内容
①ホームページ (新着情報等随時更新)	H28. 4. 1(金)	・いきいきサロン新聞の発行について
	H28. 4. 28(木)	・ノルディックウォーキング健康教室の開催について ・第1回介護予防サポーター養成講座の開催について
	H28. 5. 1(日)	・平成28年度熊本県介護支援専門員実務研修受講試験実施について
	H28. 5. 9(月)	・社協会員募集及び助成事業募集のお知らせについて他
	H28. 5. 13(金)	・平成28年熊本地震義援金の募集について
	H28. 6. 13(月)	・認知症サポーター養成講座のお知らせについて
	H28. 8. 17(水)	・平成27年度事業報告及び決算報告について ・平成28年度事業計画及び予算について
	H28. 10. 10(月)	・認知症サポーター養成講座のお知らせについて
	H28. 10. 11(火)	・芦北町介護予防サポーター養成講座の開催について
	H29. 1. 11(水)	・体力年齢を調べてみませんか？
	H29. 1. 16(月)	・芦北町民生・児童委員の活動紹介について ・地域福祉推進セミナーの開催について ・一人だけの金婚式について
	H29. 2. 2(木)	・認知症フォーラム開催のお知らせについて
	H29. 2. 3(金)	・ケアマネージャー、看護師、ヘルパーの募集について
	H29. 2. 20(月)	・介護職の募集について
H29. 3. 15(水)	・いきいきサロン新聞の発行について	

②広報「きずな」 (年4回発行)	H28. 7. 4(月)	(夏号) 7,400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画及び予算 ・平成27年度事業報告及び決算概要 ・小地域福祉推進事業(地域福祉について他) ・共同募金配分金事業(介護者の集い他) ・デイサービス事業の紹介 ・香典返し及び一般寄附、特別会員への御礼 ・事業紹介(介護予防事業)
	H28. 10. 3(月)	(秋号) 7,400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉推進事業(地区活動紹介他) ・芦北町民生委員児童委員協議会活動紹介 ・共同募金配分金事業(各種事業紹介) ・デイサービス事業の紹介 ・香典返し及び一般寄附お礼 ・「もやいまつり」開催のお知らせ他
	H29. 1. 4(水)	(冬号) 7,400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「もやいまつり」の開催 ・共同募金配分金事業(福祉スポーツ大会他) ・デイサービス事業の紹介 ・施設ボランティア連絡協議会 ・香典返し及び一般寄附お礼 ・地域福祉推進セミナー開催のお知らせ ・ふれあい交流祭り開催のお知らせ
	H29. 3. 31(金)	(春号) 7,400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動へのお礼及び実績報告 ・小地域福祉推進事業(地域福祉座談会他) ・地域包括支援センター(認知症サポーター講座開催) ・デイサービス事業の紹介 ・きずなの里ふれあい交流まつり ・香典返し及び一般寄附お礼 ・共同募金事業紹介(福祉体験事業等) ・シルバー人材センター会員募集 ・もやい直し事業「生きがいつくり受講生」募集
③ふれあい・いきいきサロン新聞	H29. 3. 15(水)	ふれあい・いきいきサロン新聞 100部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・新規サロン(小田浦、花東地区)の紹介 ・サロン代表者会議の内容 ・サロンにおける様々な効果等